

サスペンション

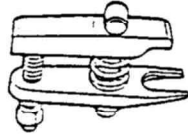
専用工具	12-2	フロント ダンパ アッセンブリ	
構成図	12-3	取外し	12-18
ホイール アライメント		分解	12-19
キャスト角度の測定	12-4	点検	12-19
キャンバ角度の測定	12-5	組立て	12-21
トーの測定	12-5	取付け	12-22
トーの調整	12-6	リヤ サスペンション	
サイド スリップの点検	12-6	締付けトルク	12-23
前輪切れ角の点検	12-7	ナックル ハブ	
ホイール		展開図、点検	12-24
ベアリング エンドの遊び	12-8	取外し	12-25
ホイール振れの点検	12-8	分解	12-26
フロント サスペンション		組立て	12-27
締付けトルク	12-9	取付け	12-28
ナックル アクスル シャフト		サスペンション アーム	
展開図、点検	12-10	取外し、点検	12-29
取外し	12-11	取付け	12-30
分解	12-12	リヤ ダンパ アッセンブリ	
組立て	12-14	取外し	12-31
取付け	12-15	分解、点検	12-31
サスペンション アーム		組立て	12-33
取外し、点検	12-16	取付け	12-34
取付け	12-17		
ボール ジョイント ブーツの交換	12-18		

専用工具

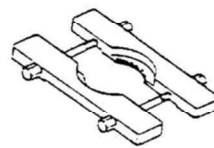
No.	工具番号	工具名称	備考
①	07HGK-0010100	ホイールアライメントゲージ ATT	
②	07MAC-SL00200	ボールジョイントリムーバ、28mm	
③	07KAF-PS30200	インナレースリムーバベース	
④	07749-0010000	アウトハンドルA	
⑤	07746-0010400	アウトドライブ、52×55mm	
⑥	07946-SB20000	ベアリングドライブ ATT	
⑦	07746-0010500	アウトドライブ、62×68mm	
⑧	07965-SA50500	フロントハブディスク/アッセンブリドライブ ATT	
⑨	07965-SD90100	サポートベース	
⑩	07974-SA50700	クリップガイドA	
⑪	07GAE-SE00101	スプリングコンプレッサ	
⑫	07965-SA70100	ハブディスク/アッセンブリツールA	
⑬	07746-0010600	アウトドライブ、72×75mm	



①



②



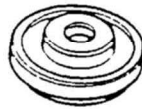
③



④



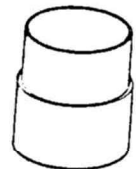
⑤ ⑦ ⑬



⑥



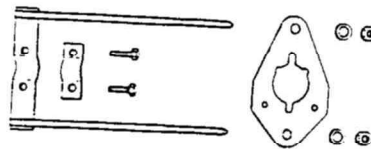
⑧



⑨



⑩



⑪



⑫

サスペンション

構成図

ホイール アライメント

・点検、調整 12-4頁

フロント サスペンション：

フロント ダンパ アッセンブリ

- ・取外し 12-18頁
- ・分解、点検 12-19頁
- ・組立て 12-21頁
- ・取付け 12-22頁

フロント ロア アーム

- ・取外し、点検 12-16頁
- ・取付け 12-17頁

スタビライザ スプリング

- ・取外し、点検 12-16頁
- ・取付け 12-17頁

フロント ナックル、アクスル シャフト

- ・展開図、点検 12-10頁
- ・取外し 12-11頁
- ・分解 12-12頁
- ・組立て 12-14頁
- ・取付け 12-15頁

リヤ サスペンション：

リヤ ダンパ アッセンブリ

- ・取外し 12-31頁
- ・分解、点検 12-31頁
- ・組立て 12-33頁
- ・取付け 12-34頁

コントロール アーム

- ・取外し、点検 12-29頁
- ・取付け 12-30頁

リヤ ロア アーム

- ・取外し、点検 12-29頁
- ・取付け 12-30頁

リヤ ナックル ハブ

- ・展開図、点検 12-24頁
- ・取外し 12-25頁
- ・分解 12-26頁
- ・組立て 12-27頁
- ・取付け 12-28頁

リヤ ラジラス アーム

- ・取外し、点検 12-29頁
- ・取付け 12-30頁

ホイール アライメント

・アライメント調整の注意事項

ホイール アライメントの点検や調整の前に、以下のことについて確認すること。これらの条件が揃っていないと、正しいホイール アライメントの点検や調整ができないことがある。

- ・サスペンションに改造が加えられていないか？
- ・タイヤサイズ、タイヤ空気圧は正しいか？
- ・ホイールやタイヤの振れに異常がないか？
- ・サスペンション関連のボール ジョイントに異常がないか？

(車輪を持って、上下左右方向にがたがないことを確認する)。



本章に記載のホイール アライメント ゲージ ATTは、キャンバ キャスタ ゲージの磁力を利用してハブに取付けるため、以下の点に注意をして取扱うこと。

- ・アタッチメントとハブの取付け面に傷がついていたり、異物を付着させたまま、測定しないこと。また、アタッチメントの保管中に、この取付け面に傷をつけないよう注意すること。
- ・磁石の吸引力が最大になるよう、アタッチメントも溝とゲージの溝を合わせて取付けること。
- ・ゲージは水準器を使うため、車体を水平な場所に置いて点検すること。

キャスタ角度の測定

★ 車体を水平な位置に置き、空車状態を維持して測定すること。

・詳細なゲージの取扱い要領は、ゲージの説明に従うこと。

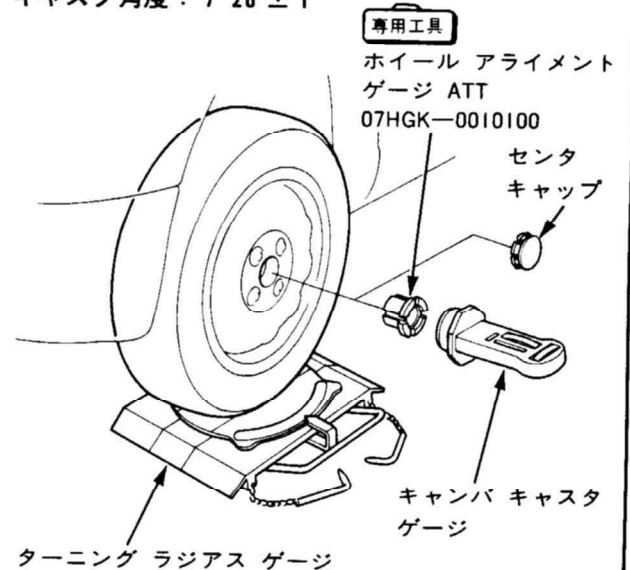
- ①ホイール センタ キャップを外す。
- ②ターニング ラジラス ゲージのターン テーブル中心に前輪を静かに乗せ、同時に後輪もラジラス ゲージと同じ高さの台に乗せる。

★ ゲージに車両を乗せた状態で、車体が水平になること。

・空車状態を維持しながら、市販のブレーキ ペダル ブレッシュャなどを使用してフット ブレーキを効かせ、車輪が動かないようにする。また、ブレーキ ライトが点灯するため、エンジン ルーム内のメイト ヒューズ ボックスからブレーキ ライト ヒューズを抜取る。

- ③ゲージのロック ピンを外す。
- ④ホイールを直進状態にして、ホイール アライメント ゲージ ATTを介してキャンバ キャスタ ゲージをハブ端面に取付ける。
- ⑤前輪を外回り(ゲージを右車輪につけた場合、右にハンドルを切る)に20°回した位置で、ゲージの取付け水準器の気泡が中心になるようにゲージの位置をなおす。
- ⑥上の状態で、キャスタ ゲージのアジャスタを回し、水準器の気泡を0に合わせる。
- ⑦前輪を内回り(ゲージを右車輪につけた場合、左にハンドルを切る)に20°回した位置で、ゲージの取付け水準器の気泡が中心になるようにゲージの位置をなおす。この位置で、キャスタ水準器の目盛りを読みとる。

キャスタ角度：7°20'±1°



- ⑧測定の結果、標準値からはずれている場合は、ロアアーム及びフレームの変形を点検する。

キャンバ角度の測定

- ★ 車体を水平な位置に置き、空車状態を維持して測定すること。
- ・床面に車両を置いて作業する場合、パーキング ブレーキを解除して測定すること。
- ・詳細なゲージの取扱い要領は、ゲージの説明を参照すること。
- ・前輪を測定する場合、ホイールを直進状態にして測定すること。
- ・後輪を測定する場合、リヤ ハブ キャップを取外してアタッチメントをハブ端面に取付けて行うこと。

- ①ホイール センタ キャップを外す。
- ②ホイール アライメント ゲージATTを介してキャンバ キャスタ ゲージをハブ端面に取付ける。
- ③ゲージの取付け水準器の気泡が中心になるように、ゲージの位置をなおし、キャンバ水準器の目盛りを読みとる。

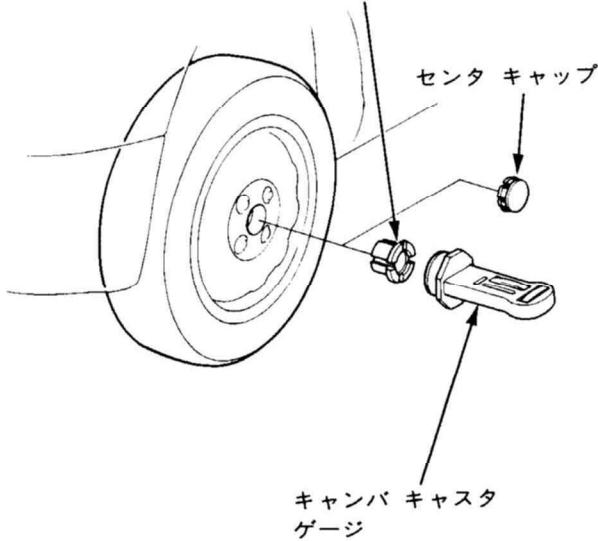
キャンバ角度

前輪： $-0^{\circ}30' \pm 1^{\circ}$

後輪： $-0^{\circ}30' \pm 1^{\circ}$

専用工具

ホイール アライメント
ゲージATT
07HGK-0010100



トーの測定

- ★ 車体を水平な位置に置き、空車状態を維持して測定すること。

・詳細ゲージの取扱い要領は、ゲージの説明に従うこと。

- ①床面の上で、車体を手で押して1mほど前進させ、ブッシュのたわみを取除く。
- ②トー ゲージを車軸中心の高さに合わせ、車輪の後ろ側に入れる。
- ③左右のタイヤ トレッド中央部にガム テープ等を貼り、車軸中心の高さにマークを付け、トー ゲージで左右トレッド センタ間の距離(a)を測定する。
- ④車両を手押しでゆっくり直進させて前輪を180°回転させ、③でつけたマークが車輪前側になるようにする。

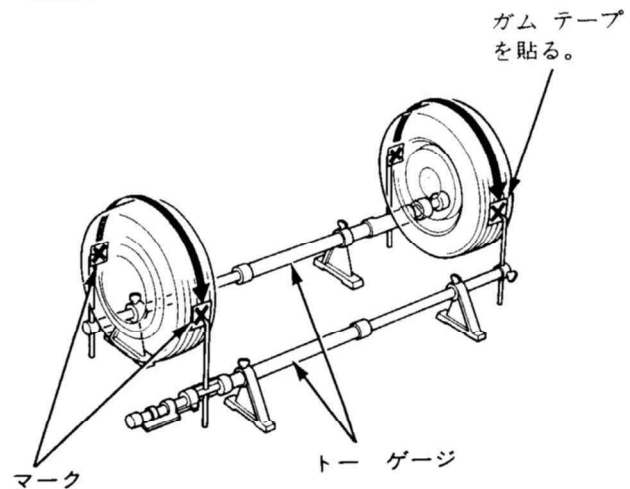
- ★ 後側で測定したときと同様、マークを車輪中心の高さに合わせる。

・180°以上回転したときは、後退させず①からやり直すこと。

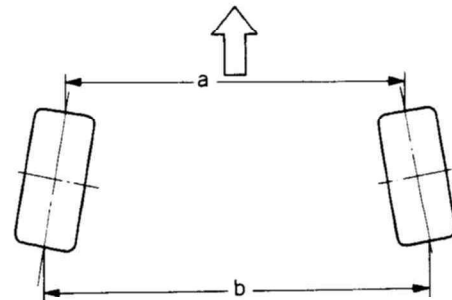
- 定する。
- ⑥距離(b) - (a)の計算によって、トーの値を求める。

前輪トー：イン0 ± 3 mm

後輪トー：イン1 ± 3 mm



- ★ 車軸中心の高さにマークをつける。



ホイール アライメント

トーの調整

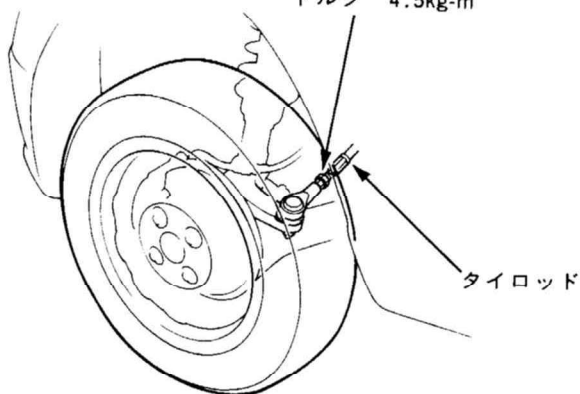
<前輪>

前輪トーの調整が必要な場合は、次の要領で行う。

- ・タイロッド ロック ナットを緩め両側のタイロッドを回しトーの調整を行う。

注意 作業終了後、タイロッドのダスト シールにねじれがないことを確認する。ねじれていたら修正する。

タイロッド ロック ナット
トルク 4.5kg-m



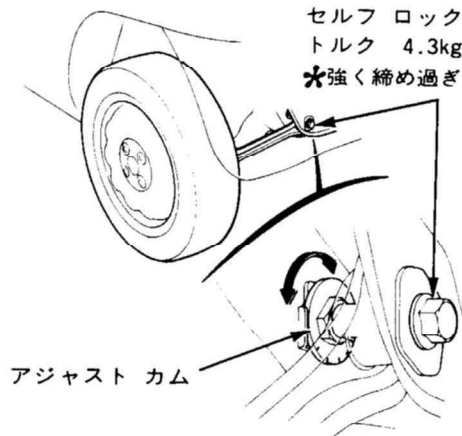
<後輪>

後輪トーの調整が必要な場合は、次の要領で行う。

- ・コントロール アームの車体中央側のセルフ ロック ボルトを、締付ける力がなくなる(アームが動かせる程度)までゆるめる。
- ・アジャスト カムを回し、トーを調整する。

セルフ ロック ボルト
トルク 4.3kg-m

*****強く締め過ぎないこと。



- ・調整後、アジャスト カムの六角部をスパナで固定し、セルフ ロック ボルトを締付ける。
 - ・偏心カムを用いたアジャスタでは、アジャスタと突き当て面のすき間の影響で目盛りと実変移量に差が生じることがある。
- アジャスタを回す方向を一定にし、途中から逆方向に回さないこと。回し過ぎた時は、元の位置まで戻しこんでからやり直す。

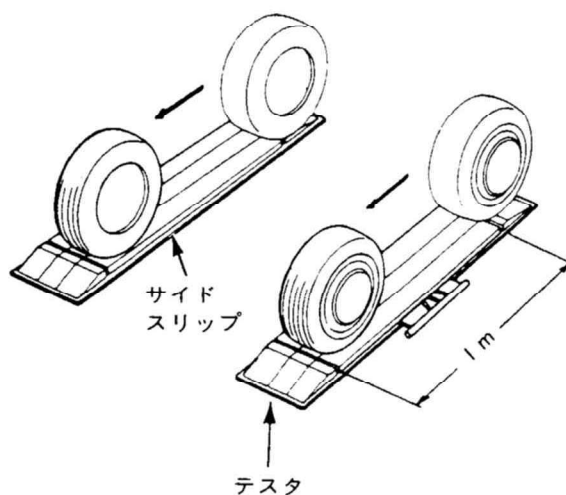
サイド スリップの点検

- ①サイド スリップ テスタを用いてサイド スリップを点検する。
- ②車両が1m前進したときの前輪サイド スリップ量を読みとる。

サイド スリップ

前輪: $0 \pm 3 \text{ mm}$

- ③サイド スリップが基準から外れている場合、前輪のホイール アライメントを点検および調整を行う。



前輪切れ角の点検

- ①ターニング ラジアス ゲージのターン テーブル中心に前輪を静かに乗せ、同時に後輪もラジアス ゲージと同じ高さの台に乗せる。

★・ゲージに車両を乗せた状態で、車体が水平になること。
・空車状態を維持しながら、市販のブレーキ ペダル ブレッシュャなどを使用してフット ブレーキを効かせ、車輪が動かないようにする。また、ブレーキ ライトが点灯するため、エンジン ルーム内のメイン ヒューズ ボックスからブレーキ ライト ヒューズを抜取る。

- ②ゲージのロック ピンを外し、ハンドルを左右一杯に切って前輪の切れ角を点検する。

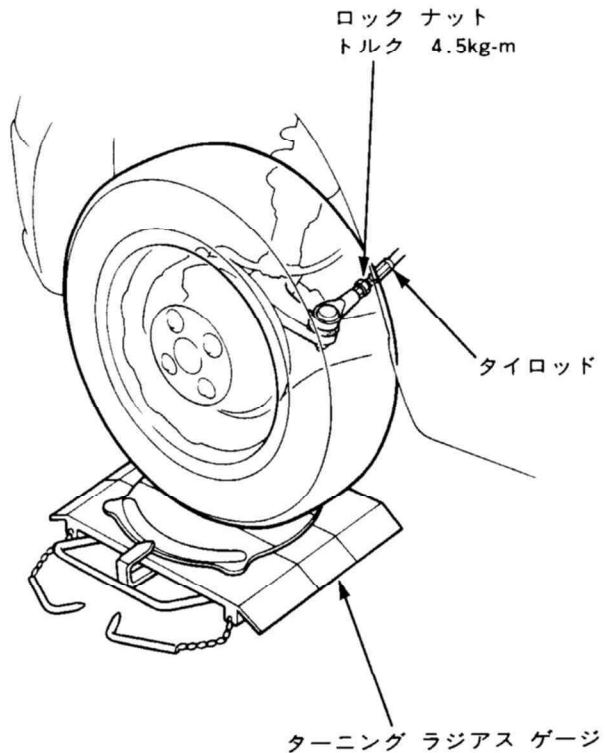
前輪の切れ角：内側： $36^{\circ}30' \pm 2^{\circ}$

外側： $33^{\circ}00'$ (参考値)

- ③両側の内側切れ角及び外側切れ角がそれぞれ異っていたり、基準値から外れていたら、トーを再点検する。

★切れ角は、構造上左右ホイール切れ角の差を、点検するのみで、調整は行なえない。

注意 トー調整後は、タイロッド ダスト シールがねじれていないことを確認すること。



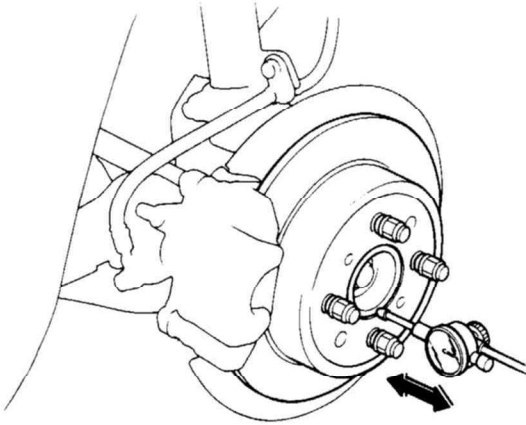
ホイール

ベアリング エンドの遊び

ホイール軸方向の遊び

ハブ ベアリング エンド部にダイヤル ゲージを当てて測定する。

標準値：フロント：0～0.05mm
リヤ：0～0.05mm



ホイールの振れの点検

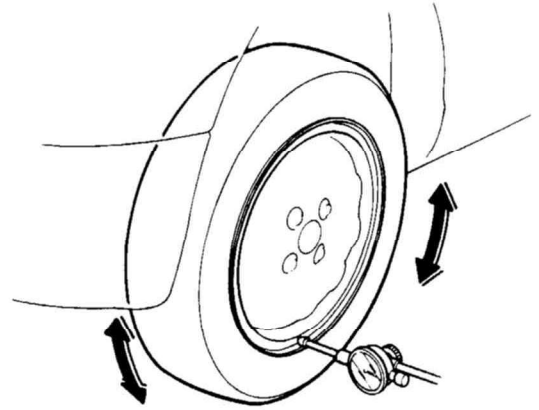
車体をジャッキ アップし、車輪を浮かせる。(1章参照)

車輪をゆっくり手で回して、タイヤ外周面の縦方向とサイドウォール部の横方向に異常な振れがないか点検する。

ダイヤルゲージをホイールのリム部分にセットし、手でゆっくり車輪を回してフロントおよびリヤホイールの振れを点検する。

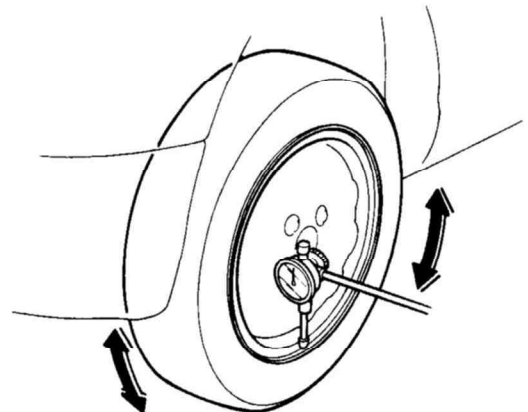
フロント及びリヤホイール左右方向の振れ

標準値：スチールホイール 0～1.0mm
アルミホイール 0～0.3mm



フロント及びリヤホイール上下方向の振れ

標準値：スチールホイール 0～0.8mm
アルミホイール 0～0.3mm



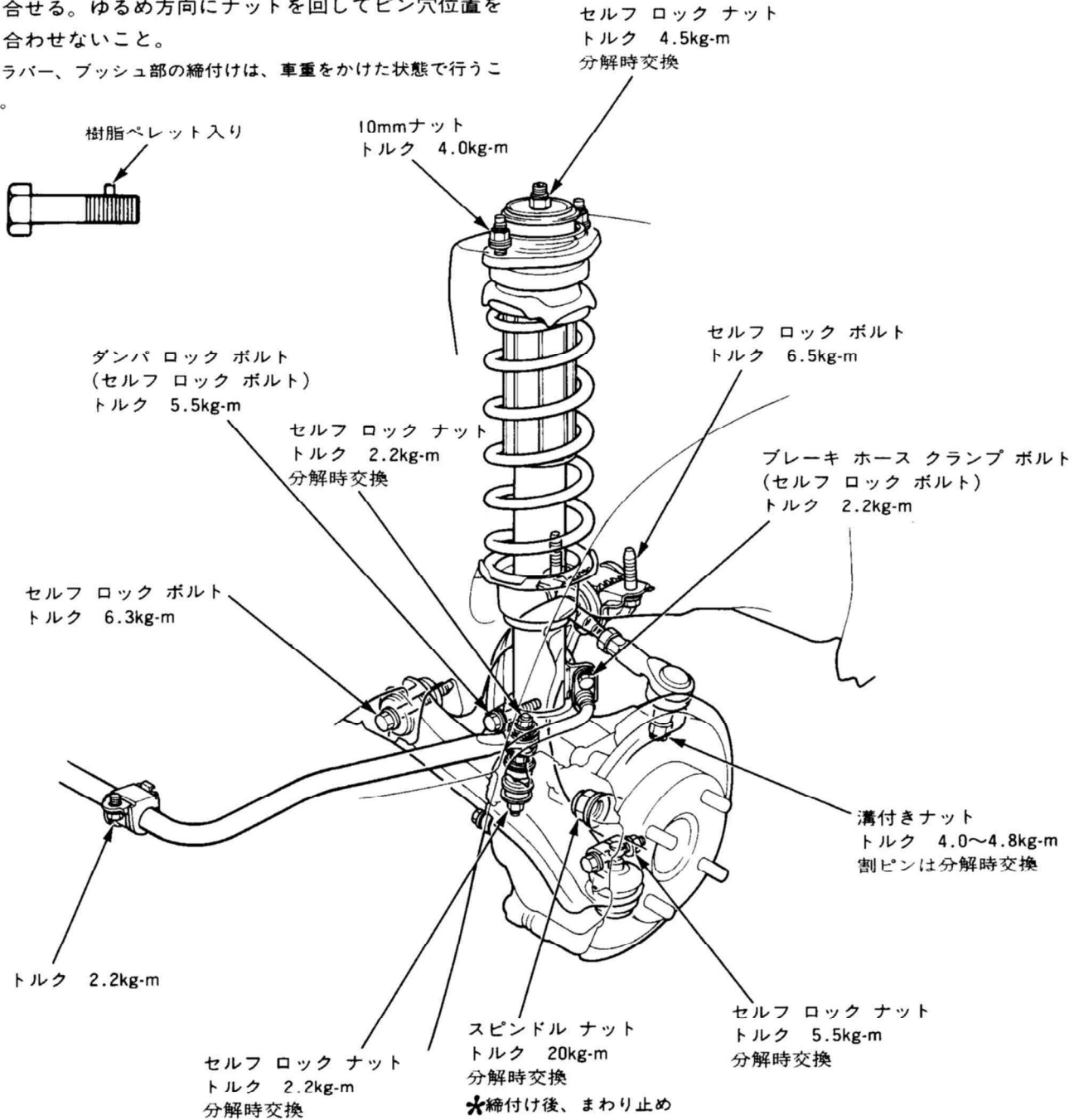
フロント サスペンション

締付けトルク

注意

- ・セルフ ロック ボルトに新品ナットを組付けて0.1 kg-m以下で回るようであれば、セルフ ロック ボルトは新品と交換すること。
- ・ボール ジョイント部は、グリースを拭き取ってから、締付けること。
- ・溝付きナットによる締付け箇所は、下限値で締付けた後、締付け方向にナットを回してピンの穴位置を合わせる。ゆるめ方向にナットを回してピン穴位置を合わせないこと。

＊ラバー、ブッシュ部の締付けは、車重をかけた状態で行うこと。

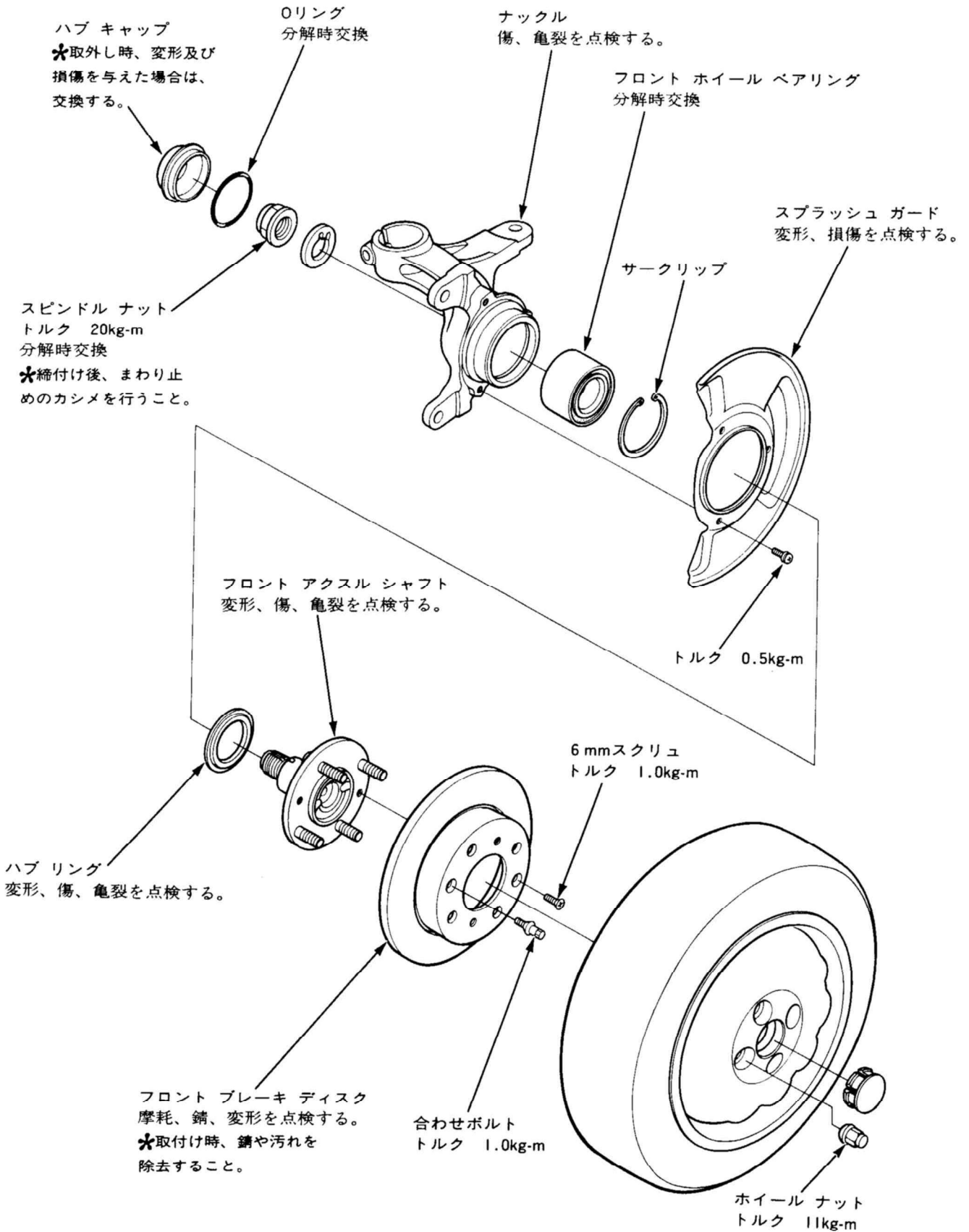


＊締付け後、まわり止めのカシメを行うこと。

フロント サスペンション

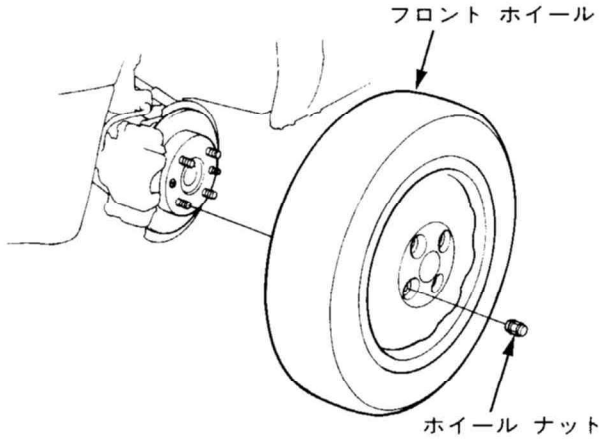
ナックル、アクスル シャフト

展開図、点検



取外し

- ①フロント ホイールのホイール ナットをゆるめる。
- ②フロントをジャッキ アップして、メイン フレーム 最前端部にリジッド ラックをあてがう。
- ③フロント ホイールを取外す。



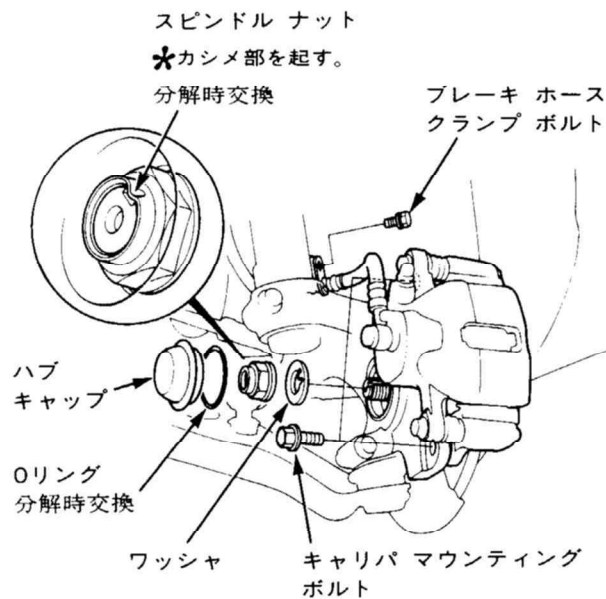
- ④ハブ キャップを取外す。

★ハブ キャップ取外し時、変形または損傷を与えた場合は交換すること。

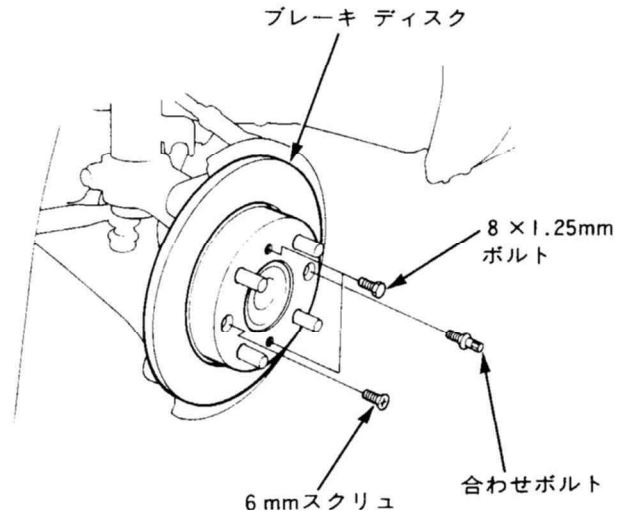
- ⑤スピンドル ナットのカシメ部を外して、スピンドル ナットを取外す。
- ⑥ブレーキ ホース クランプ ボルトを外す。
- ⑦キャリパ マウンティング ボルト 2本を取外して、キャリパを針金等で吊る。

注意

- ・キャリパを固定する場合、他の部品に損傷を与えないように充分注意する。
- ・ブレーキ ホースを無理にねじらないこと。

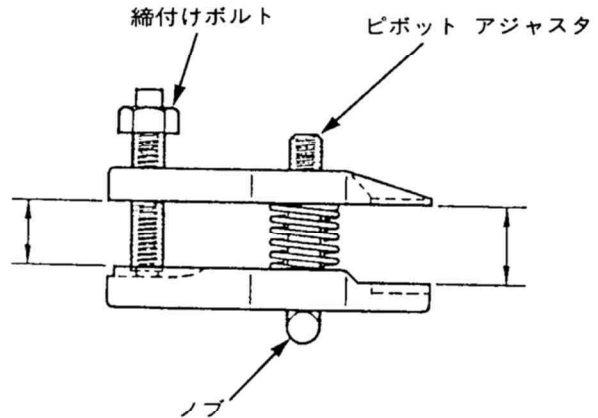


- ⑧ブレーキ ディスクから 6 mm スクリューと合わせボルトを取外す。
- ⑨ブレーキ ディスクが外しにくい場合は、8 × 1.25 mm ボルト 2本を下図のように取付け、平均的に締込んでアクスル シャフトから、ブレーキ ディスクを取外す。



★ボール ジョイント部の取外しにおいて、ボール ジョイント リムーバ、28mm (07MAC-SL00200)の取り扱いは以下のように行う。

- ーボール ジョイント リムーバのピボット アジャスタのノブと締付けボルトで上下のアームを平行に調整して使用すること。
- ーピボット アジャスタのノブは、調整後横に向けること。

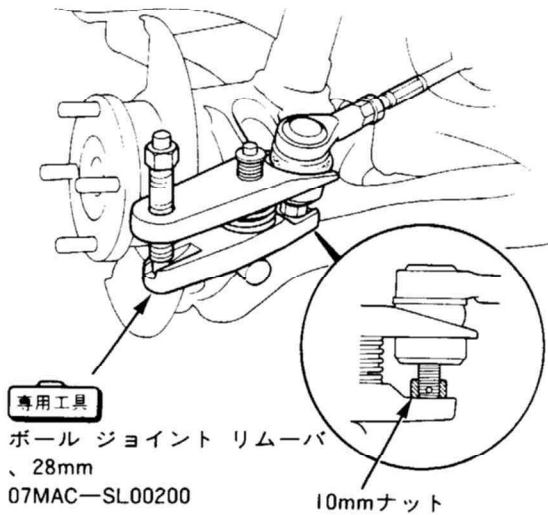


注意 専用工具(ボール ジョイント リムーバ、28 mm)は確実に取付けた後、分離作業にとりかかること。(確実に取付いていないとプーラでボール ジョイント ピンまたはブーツに損傷を与えたり、プーラが外れ思わぬ怪我を招くことがあるので充分注意して作業を行うこと。

フロント サスペンション

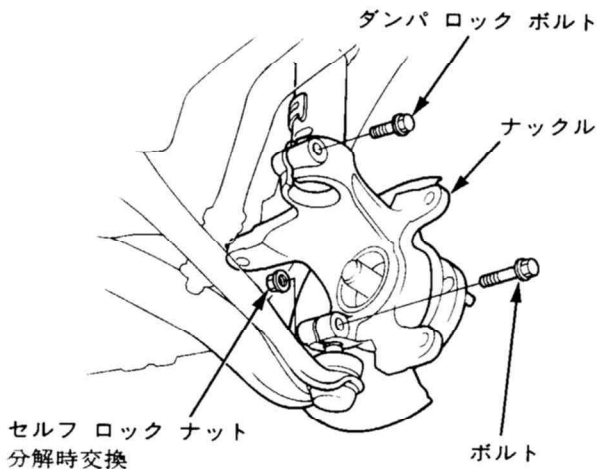
ナックル、アクスル シャフト

- ⑩タイロッドとナックル結合部の割ピンを外し、溝付きナットを取外して、他の10mmのナットをジョイントのねじ部端面と段差がないようにかける。
- ⑪専用工具(ボール ジョイント リムーバ)で、タイロッドとナックルの接続を外す。



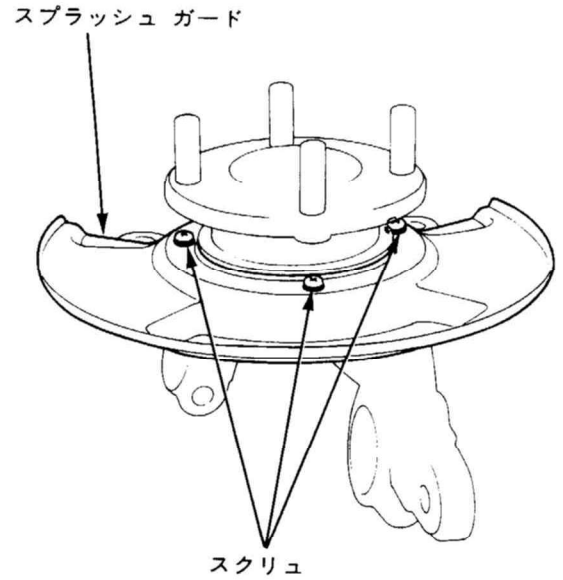
- ⑫ロア アームを接続しているボルトを外す。
- ⑬ロア アームを下げ、ナックルとロア アームの接続を外す。
- ⑭ナックルとダンパの接続を外す。

注意 ロア ボール ジョイント部分解作業時、ブーツをナックル等のエッジ部にあてたり、工具でブーツ ダスト リップに傷をつけるものがあるので注意すること。また、ナックル下側及びボール ピンに錆が発生している場合は、ブーツのリップ部も摩耗しているので、分解時は必ずブーツを交換しグリースを充填すること(12-18頁)



分解

- ①スプラッシュ ガード締付けスクリュ 3 本を取外す。



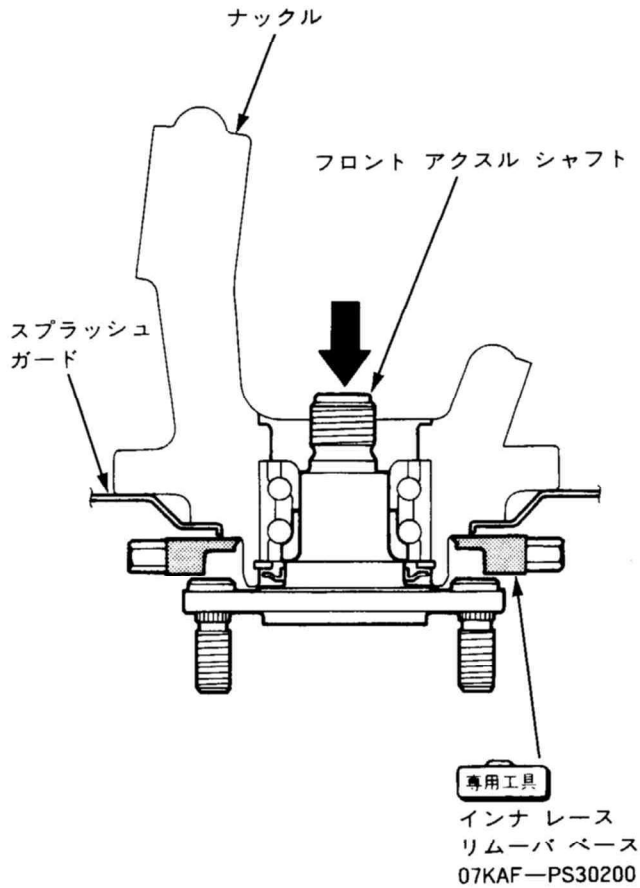
②専用工具とプレス機を使い、ナックルから、フロント アクスル シャフトを取外す。

注意

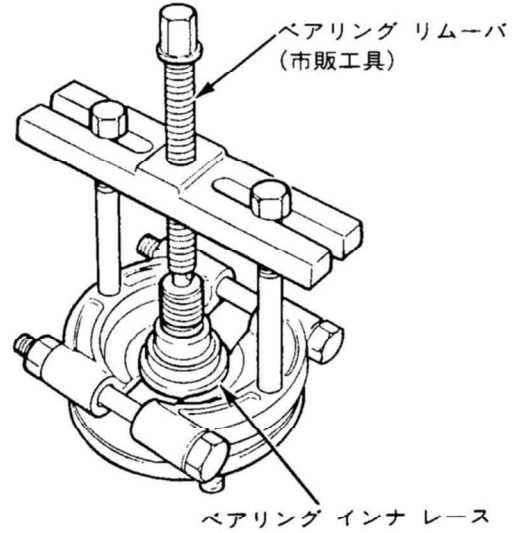
- ・分解時ナックルが傾かないように、確実にベースにセットする。
- ・スプラッシュ ガードを变形させないように注意する。
- ・フロント アクスル シャフトを取外す場合は、ホイール ベアリングを交換する。
- ・アクスル シャフトが抜け落ちるので、シャフト下側を手でささえしておく。

③スプラッシュ ガードを取外す。

④サークリップを取外す。



⑤ベアリング リムーバ(市販工具)を使用して、ベアリング インナ レースを取外す。



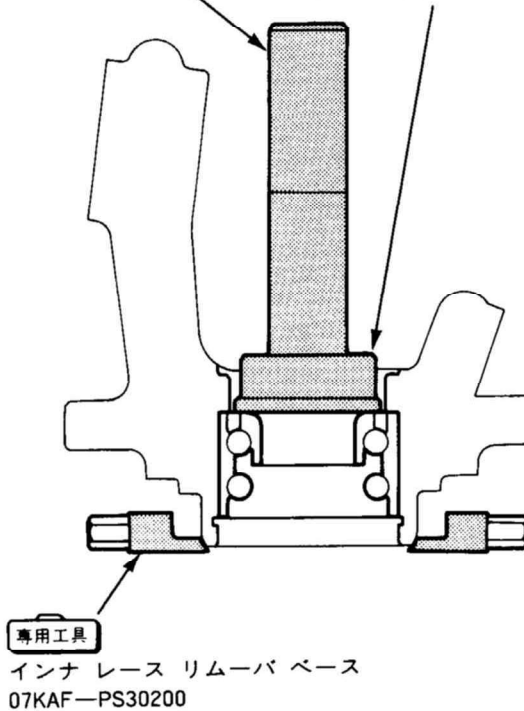
⑥専用工具とプレス機を使い、ベアリングをナックルから取外す。

専用工具

アウト ハンドルA
07749-0010000

専用工具

アウト ドライバ、52×55mm
07746-0010400



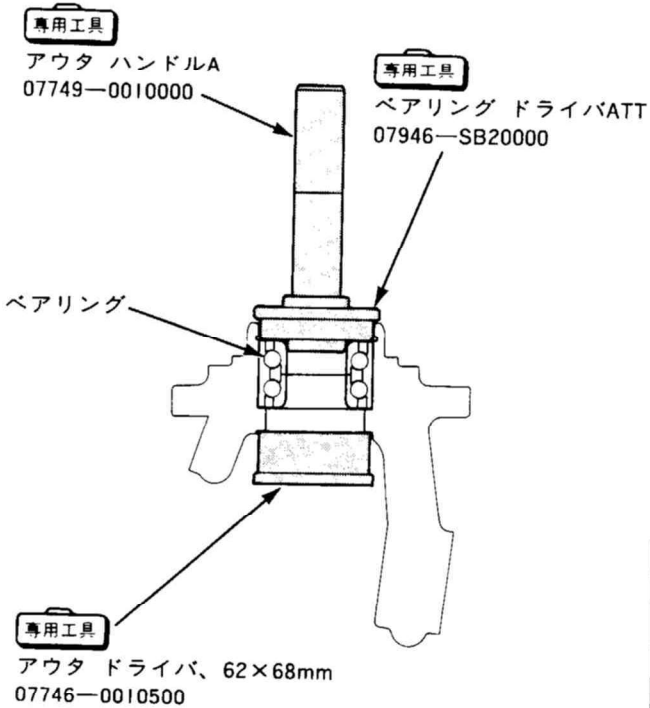
フロント サスペンション

ナックル、アクスル シャフト

組立て

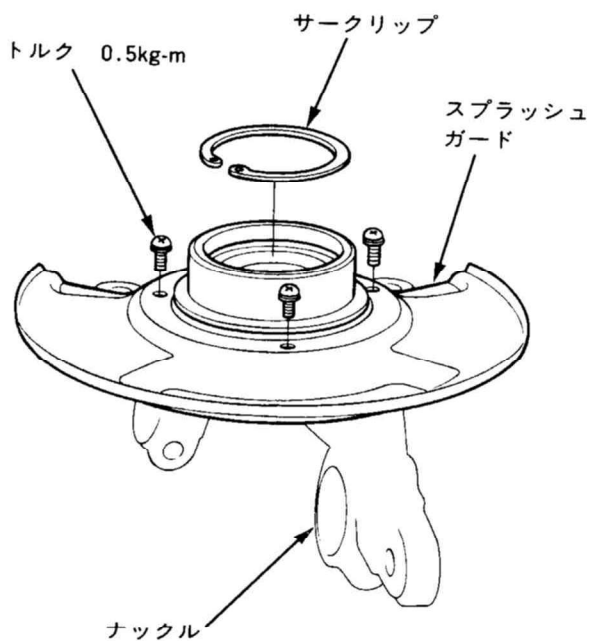
★組立て前に、ナックル及びアクスル シャフトを洗淨する。

①専用工具とプレス機を使って、ベアリングをナックルに圧入する。

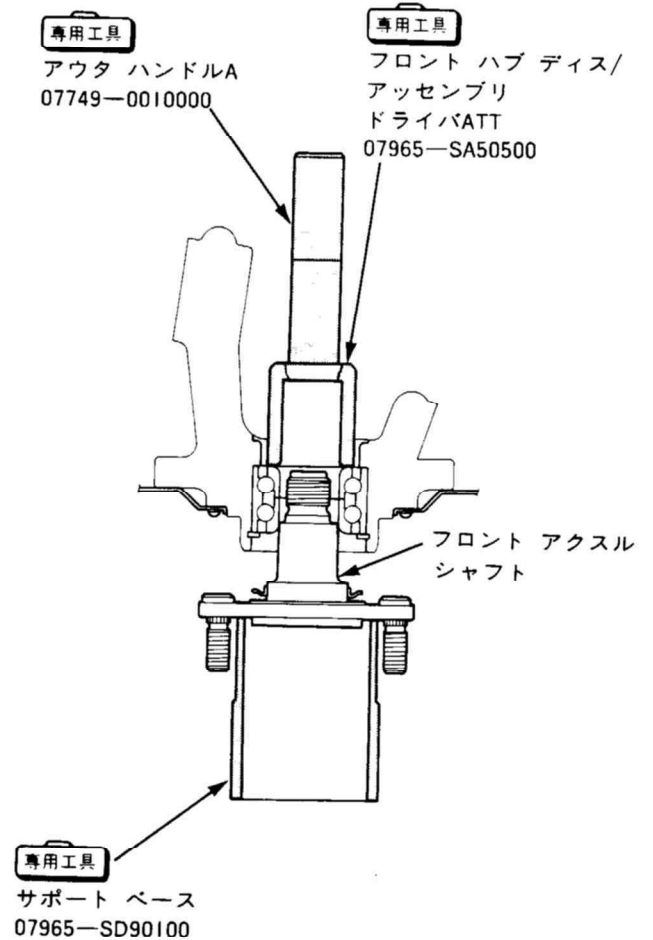


②サークリップを取付ける。

③スプラッシュ ガードをナックルに取付ける。

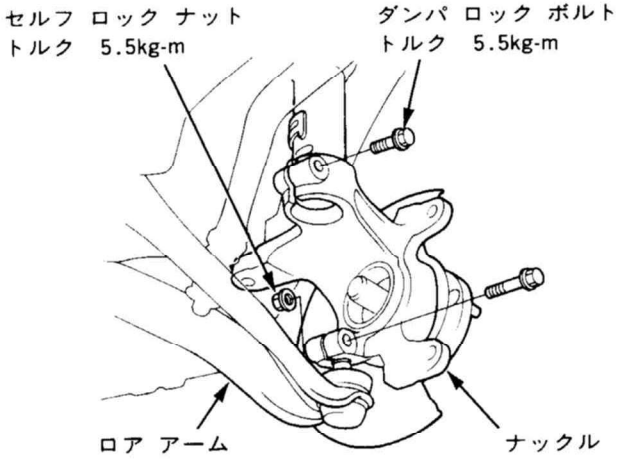


④専用工具とプレス機を使い、フロント アクスル シャフトをホイール ベアリングに圧入する。

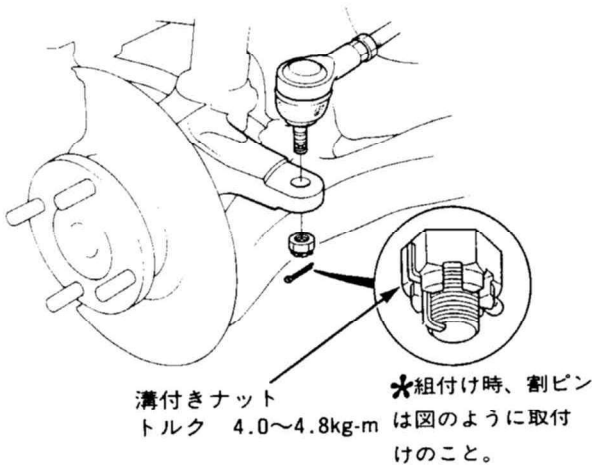


取付け

- ①ナックルとロア アームを接続する。
- ②ナックルとダンパを接続する。

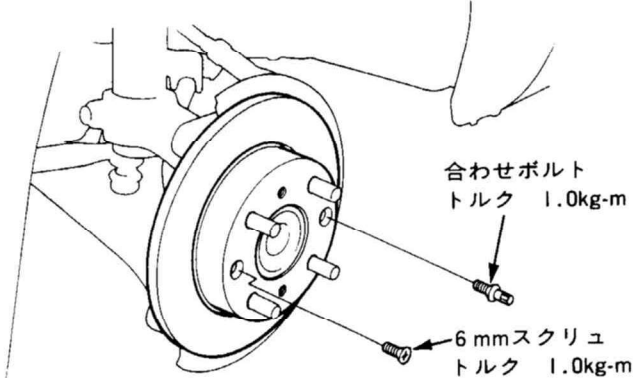


- ③ナックルとタイロッドを接続する。



- ④ブレーキ ディスクを取付け、6 mmスクリュと合わせボルトを締付ける。

注意 ブレーキ ディスク取付け時には、取付け面の錆、異物を取除き、清掃してから取付けること。

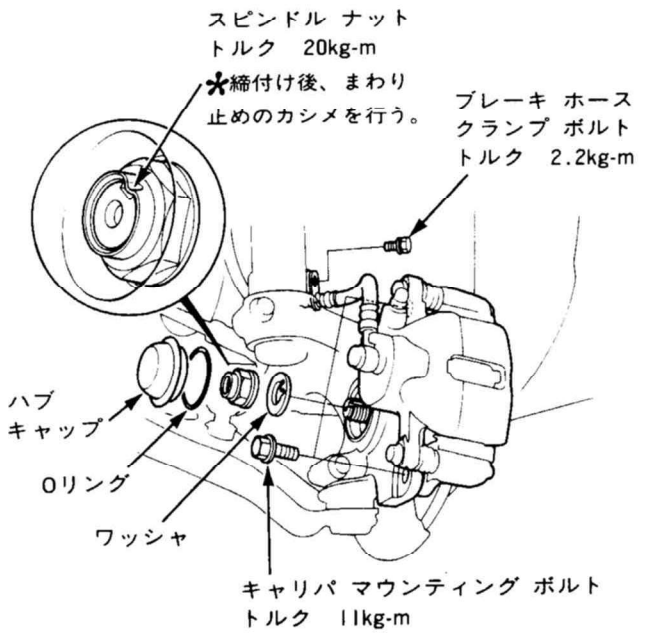


- ⑤スピンドル ナットを締付けて、カシメを行う。
- ⑥ハブ キャップを取付ける。

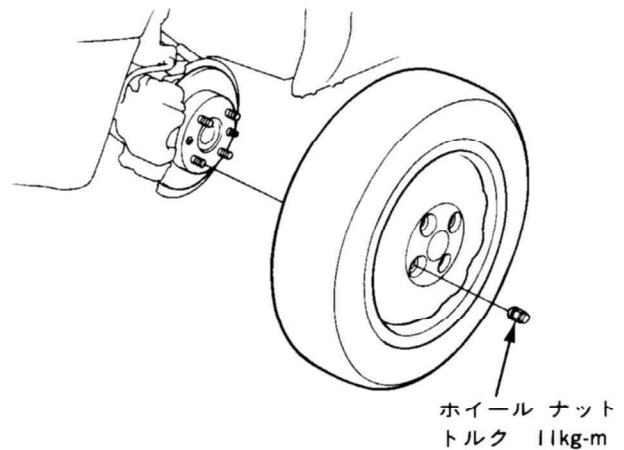
*取外し時に、変形及び損傷を与えた場合は、交換すること。

- ⑦ブレーキ キャリパを取付け、キャリパ マウンティング ボルトで締付ける。
- ⑧ブレーキ ホース クランプをブレーキ ホース クランプ ボルトで締付ける。

注意 ブレーキ ホースに無理なねじれがないように締付けること。



- ⑨フロント ホイールを取付ける。



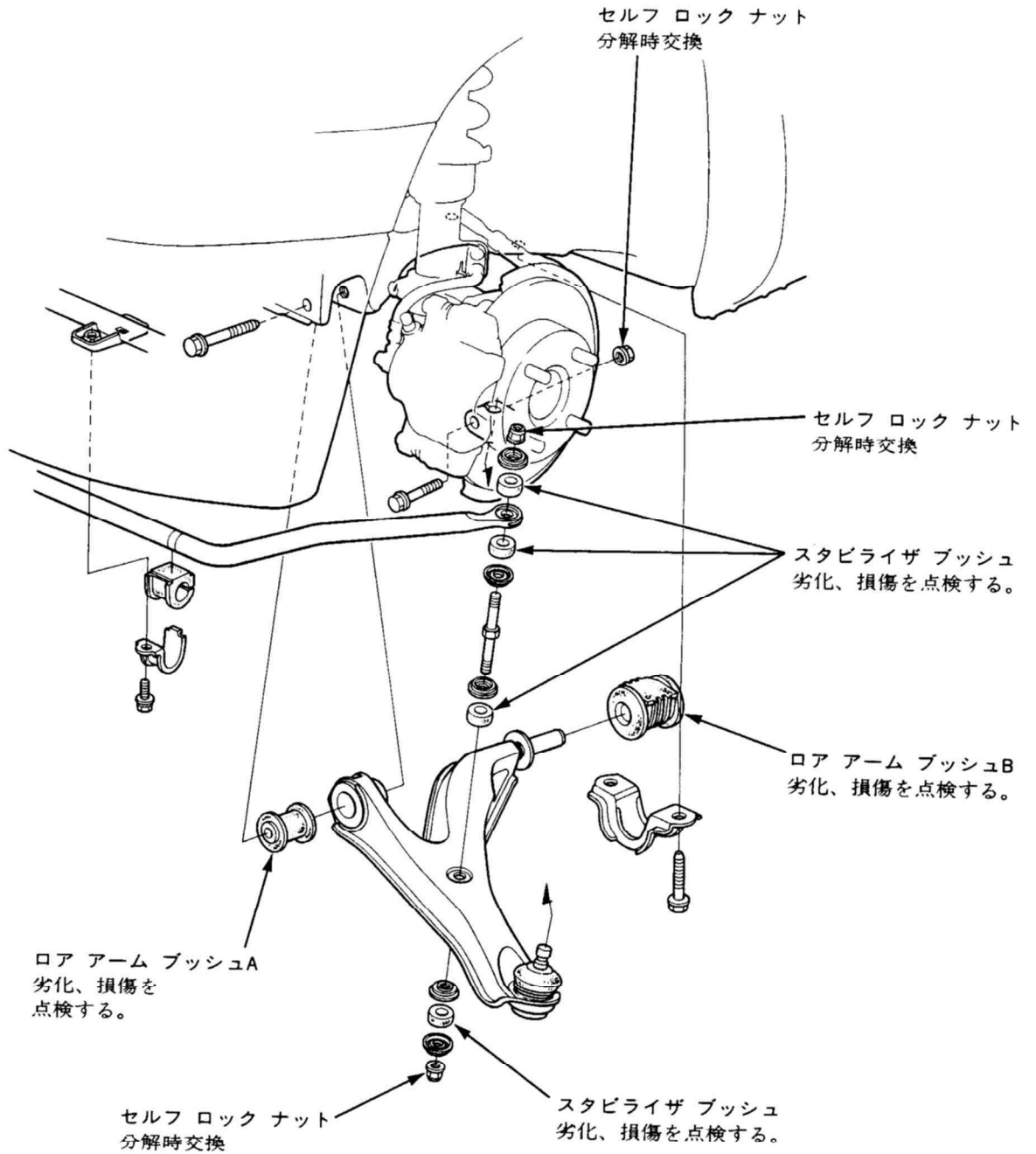
- ⑩フロント ホイール取付後、ホイール アライメントを測定し、基準外であれば調整する。(12-4頁)

フロント サスペンション

サスペンション アーム

取外し、点検

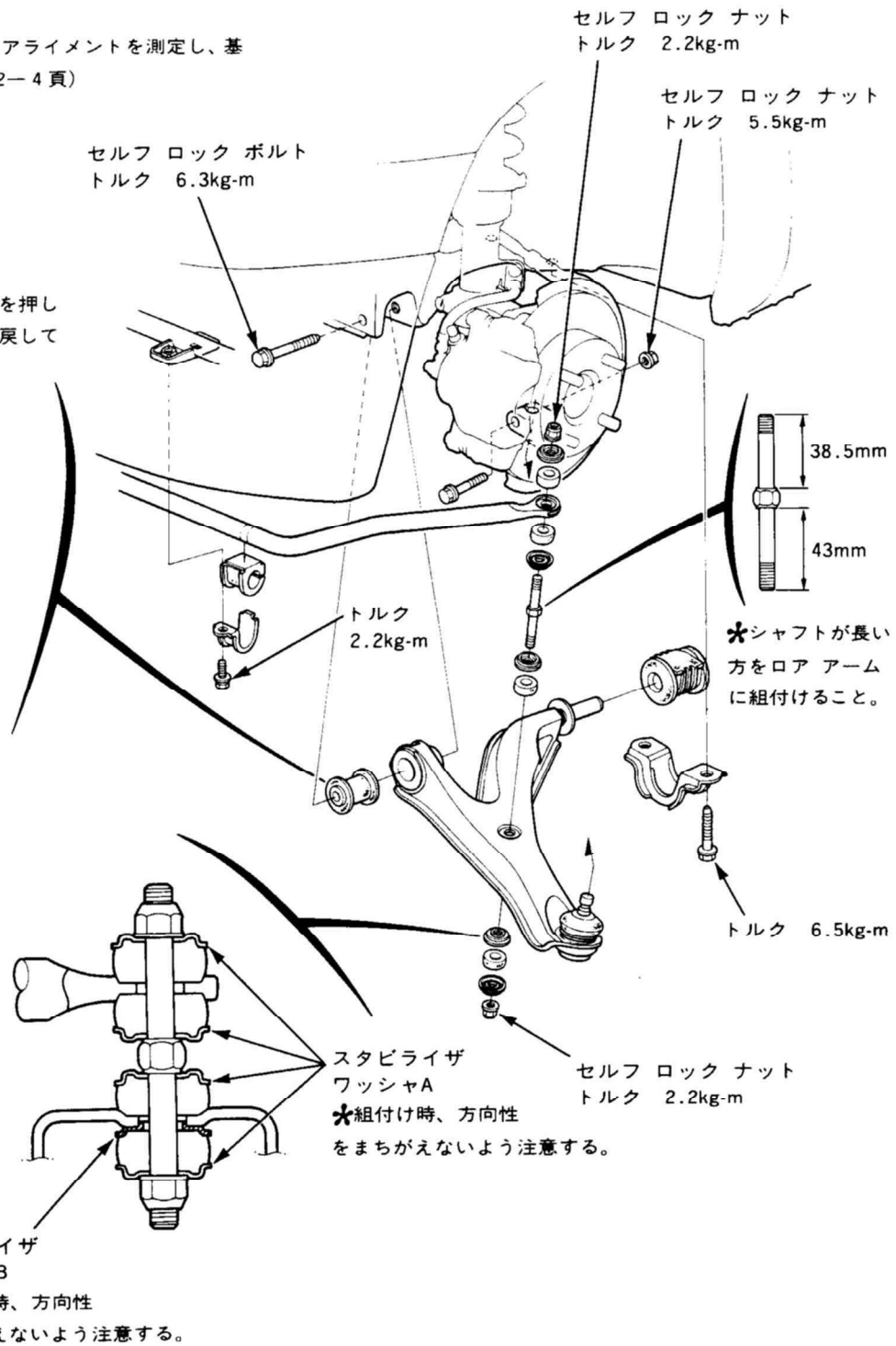
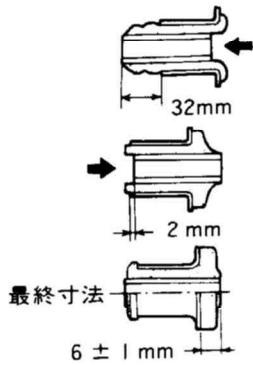
注意 ロア ボール ジョイント部の分解作業時、ブーツをナックル等のエッジ部にあてたり、工具でブーツ ダスト リップに傷をつけるものがあるので注意すること。また、ナックル下部及びボール ピンに錆が発生している場合は、ブーツのリップ部も摩耗しているため、分解時は必ずブーツを交換しグリースを充填すること(12-18頁)。



取付け

- * ロア アーム取付け時、ボール ジョイント ビンに付着したグリースをよく拭きとること。
- ・ ラバー、ブッシュ部の締付けは、車重をかけた状態で行うこと。
- ・ 各アーム類取付け後、ホイール アライメントを測定し、基準外であれば調整すること。(12-4頁)

- * 組付時は、まず前側よりブッシュを押し、上図の寸法にする。次に後側より戻して中央部の寸法にする。



フロント サスペンション

ボール ジョイント ブーツの交換

①サークリップを外しブーツを取外す。

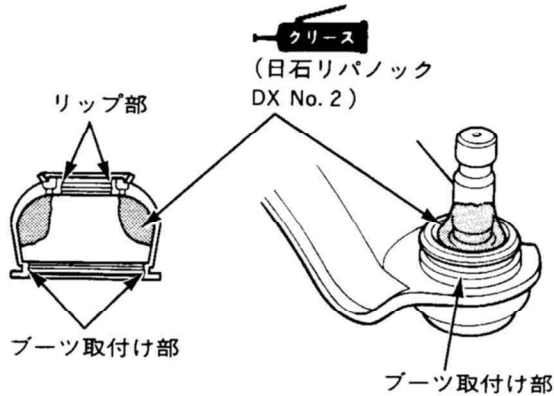
注意 ブーツ取付け部にグリースを付着させないこと。

②ブーツ内部及び、リップ部にグリースを充填する。

③ボール ピン摺動部のグリースを拭きとり、新しいグリースを充填する。

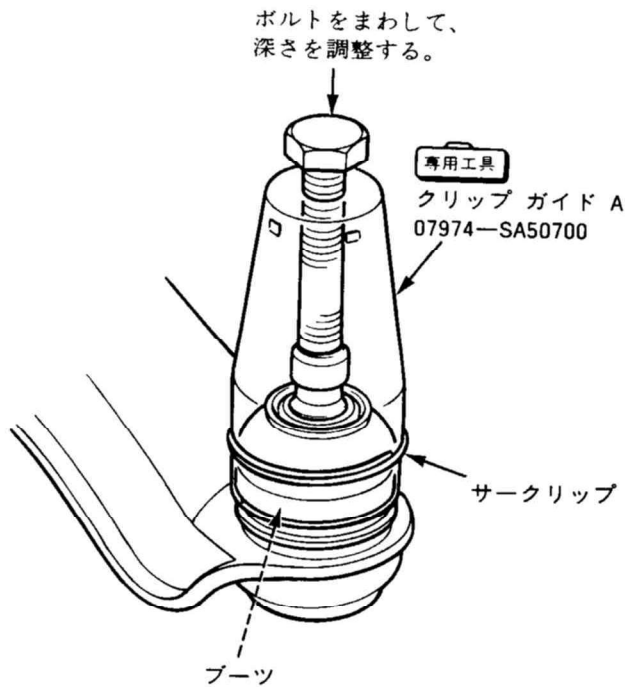
注意

- ・ブーツ取付け部にグリースを付着させないこと。
- ・ブーツ内部には、絶対にゴミ等を入れないこと。



④ブーツを取付け、エア抜きを行う。

⑤サークリップを専用工具に取付け、ボルトでブーツの深さを調整し、サークリップを取付ける。



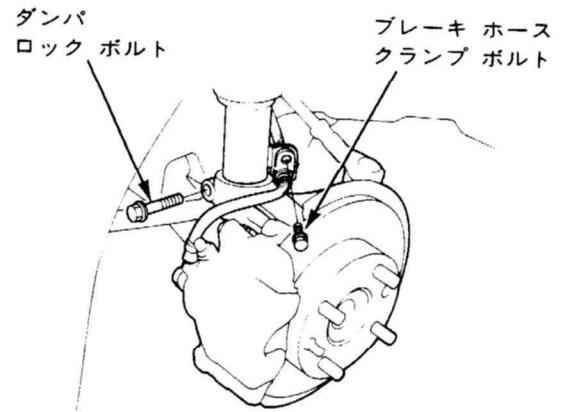
フロント ダンパ アセンブリ

取外し

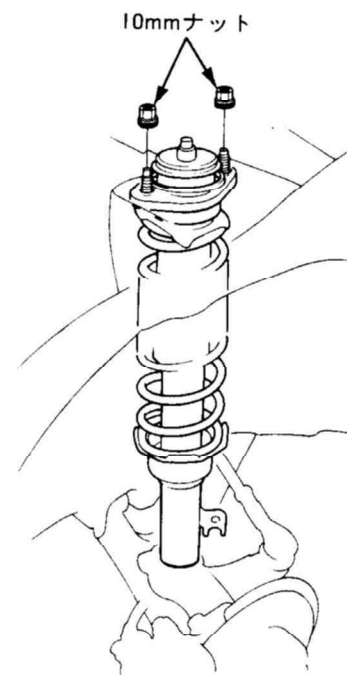
①ブレーキ ホースのクランプ ボルトを取外す。

②ダンパ ロック ボルトを外す。

③ナックルを下に下げ、ダンパ アセンブリとナックルを分離する。



④10mmナットを外し、ボディからダンパ アセンブリを取外す。

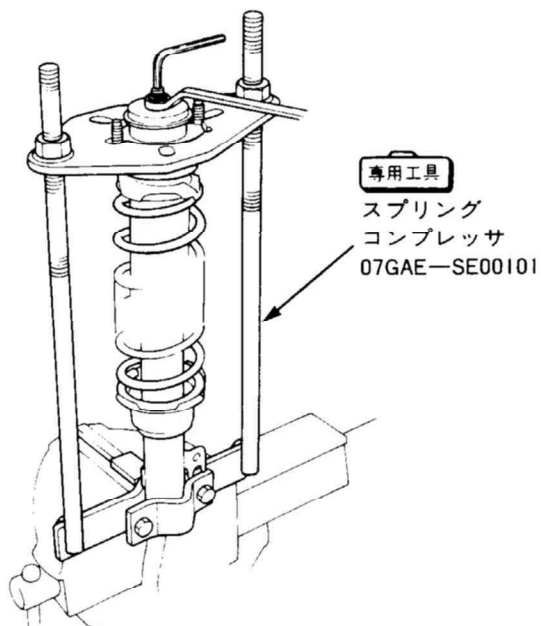


分解

- ①専用工具(スプリング コンプレッサ)を用いて、スプリングを圧縮する。

注意 スプリングを十分に圧縮してから、次の工程に移る。

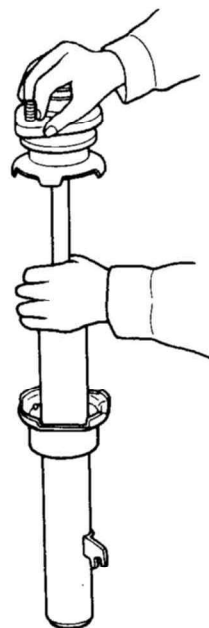
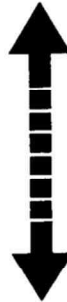
- ②12mmセルフ ロック ナットを取外す。



- ③専用工具を外し、ダンパ アッセンブリを分解する (次頁参照)。

点検

- ①ダンパ ユニットのピストン ロッドをゆっくり一定速度で動かして、全ストロークにおいて、その動きの重さが一定であるかどうか点検する。
- ②ピストン ロッドを急激に5~10cmのストロークで動かしたとき、重さが変わらないかどうか点検する。
- ③ピストン ロッドの傷やオイル漏れの様子はないか点検する。
- ④上記点検中、異常な音や手ごたえがないか点検する。



フロント ダンパ アッセンブリ

点検

12mmセルフ ロック ナット
トルク 4.5kg-m
分解時交換

ダンパ マウンティング
ワッシャ
座面のへたりを点検する。

スプリング アップ シート
損傷を点検する。

ダンパ
マウンティング
ベース
劣化、損傷を
点検する。

バンプ ストップ
ラバー
衰損、損傷を点検する。

ダンパ ベアリング
プレート

スラスト レース

ダスト シール
劣化、損傷を
点検する。

ニードル ベアリング
摩耗、損傷を点検する。

ダスト カバー
へこみ、曲がりを点検する。

スプリング
へたり、損傷を点検する

ダンパ ユニット
オイル漏れ、作動を
点検する(前頁参照)。
錆、泥を点検する。

クリーズ

リチウム又は、相当品0.5gを塗布する。

組立て

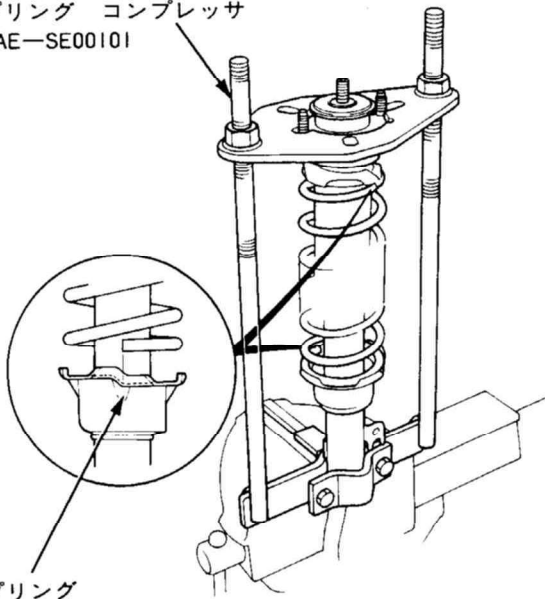
- ①専用工具(スプリング コンプレッサ)に、ダンパユニットを取付ける。
- ②専用工具をバイス等に固定し、ダンパユニットに下記の部品を組付けてゆく。
 - バンプ ストップ ラバー
 - スプリング
 - ダスト カバー
 - スプリング アップ シート
 - ニードル ベアリング
 - ダスト シール
 - スラスト レース
 - ダンパ ベアリング プレート
 - ダンパ マウンティング ベース

注意

- ・シール ブッシュとダンパ ロッド間、ニードル ベアリングの両面にグリースを塗布すること。
- ・スプリング取付時、スプリング両端と上下のスプリング位置決め部をあわせること。

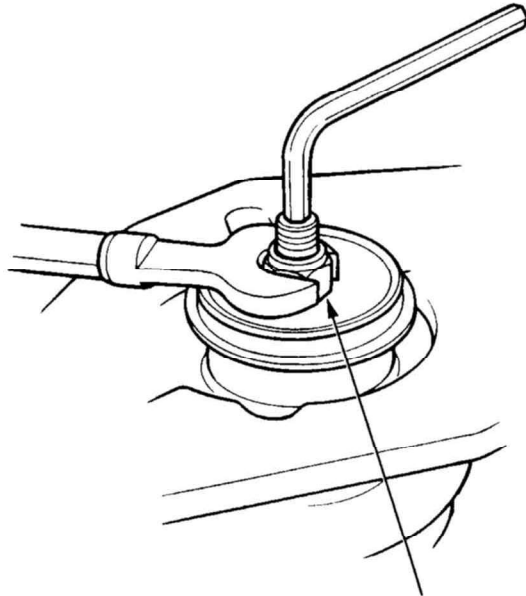
専用工具

スプリング コンプレッサ
07GAE-SE00101



スプリング
位置決め部

- ③スプリング コンプレッサでスプリングを圧縮する。
- ④ダンパ マウンティング ワッシャを取付け、12mmセルフ ロック ナットを仮付けする。
- ⑤ダンパ シャフトを固定し、セルフ ロック ナットを締付ける。

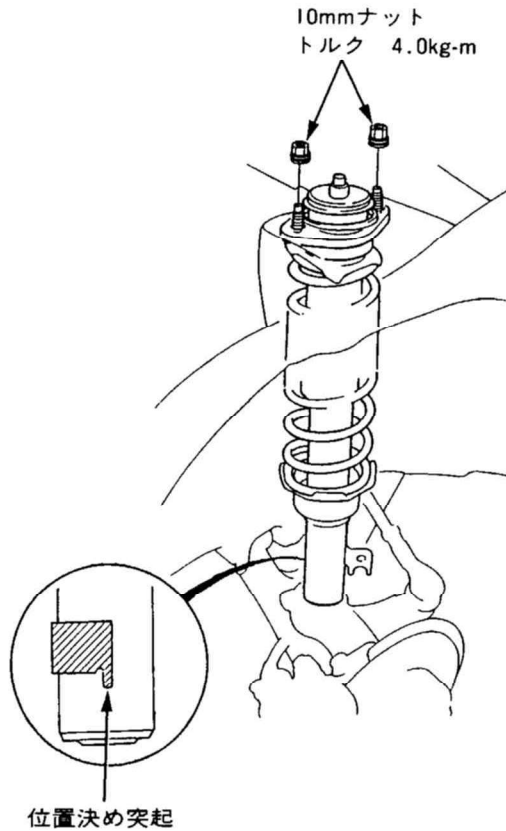


12mmセルフ ロック ナット
トルク 4.5kg-m

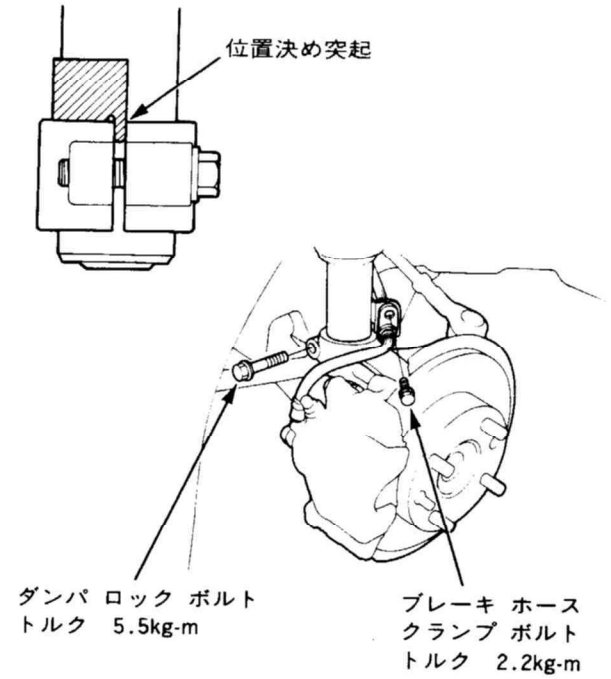
フロント ダンパ アッセンブリ

取付け

- ①ダンパの位置決め突起部をフレームの内側に向け、10mmナットでダンパをフレームに仮付けする。
*左右のダンパを逆に組付けないように注意すること。



- ②ダンパ位置決め突起と、ナックルの溝を合わせ、ダンパアッセンブリをナックルに取付ける。
- ③ナックルが落ちないようにおさえておいて、ダンパロックボルトを締付ける。
- ④ダンパ上側のナットを締付ける。
- ⑤ブレーキホースクランプボルトでブレーキホースを固定する。



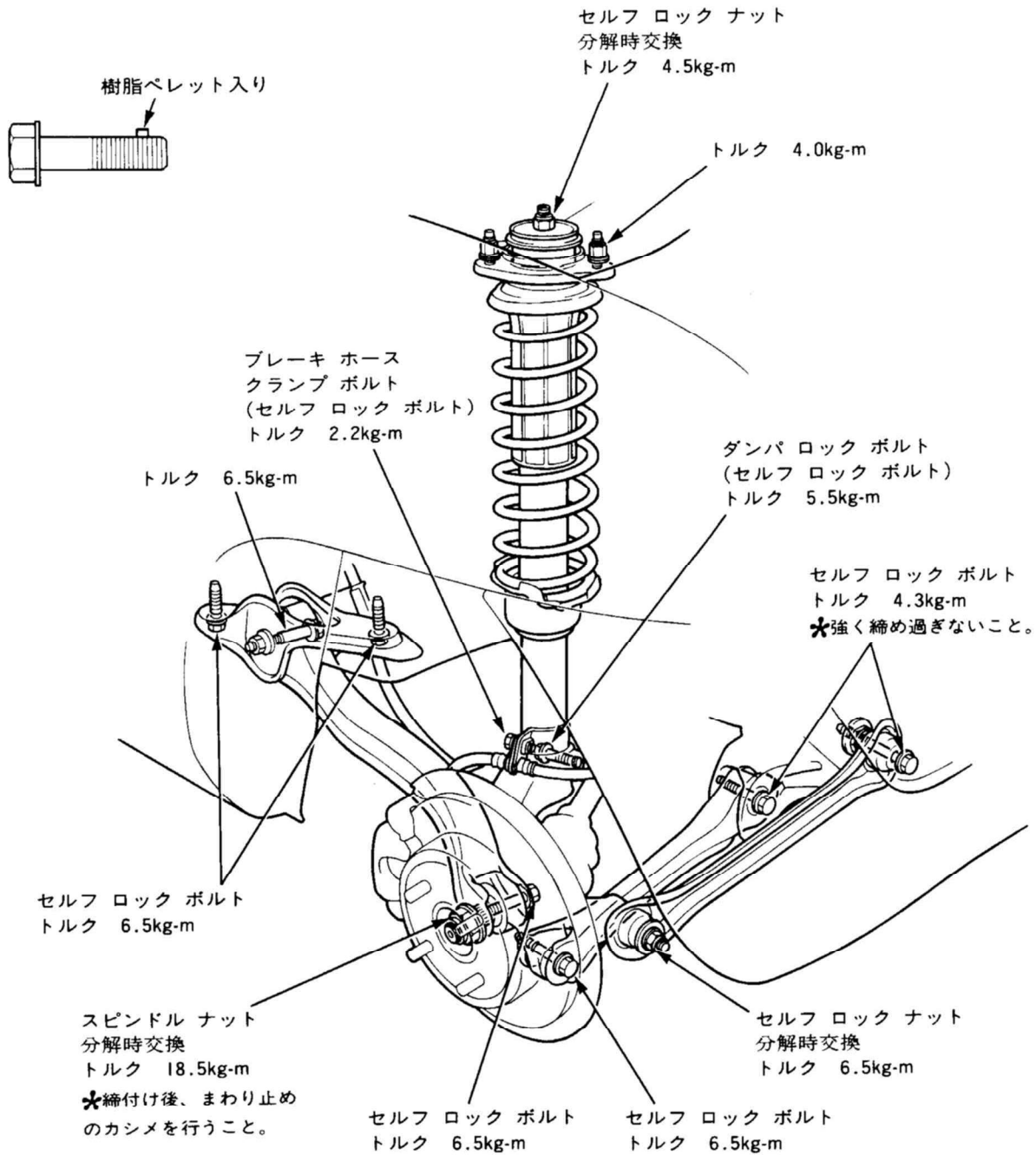
リヤ サスペンション

締付けトルク

注意

- ・セルフ ロック ボルトに新品ナットを組付けて0.1 kg-m以下で回るようであれば、セルフ ロック ボルトは新品と交換すること。
- ・溝付きナットによる締付け箇所は、下限値で締付けた後、締付け方向にナットを回してピンの穴位置を合わせる。ゆるめ方向にナットを回してピン穴位置を合わせないこと。

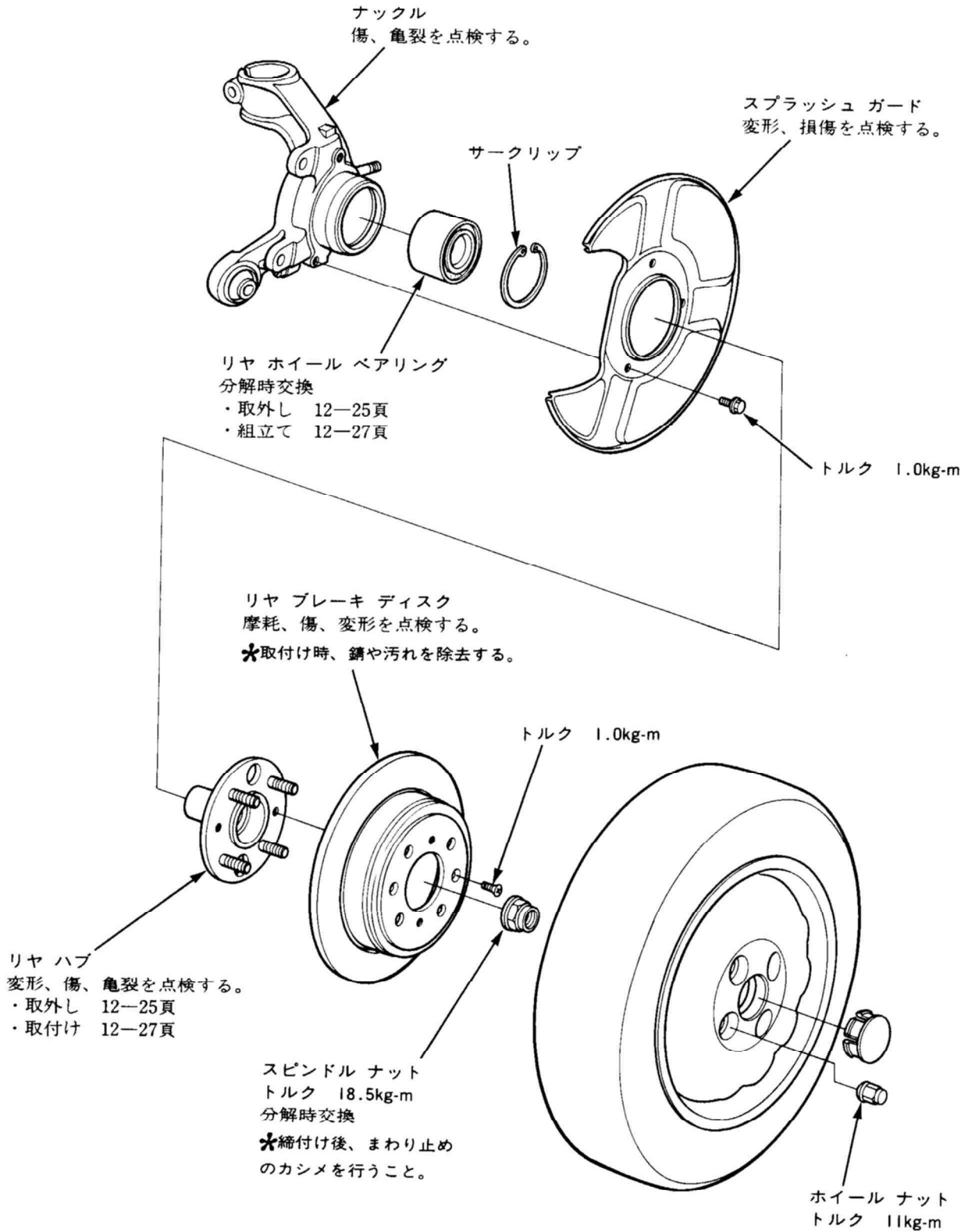
★ラバー ブッシュ部の締付けは、車重をかけた状態で行うこと。



リヤ サスペンション

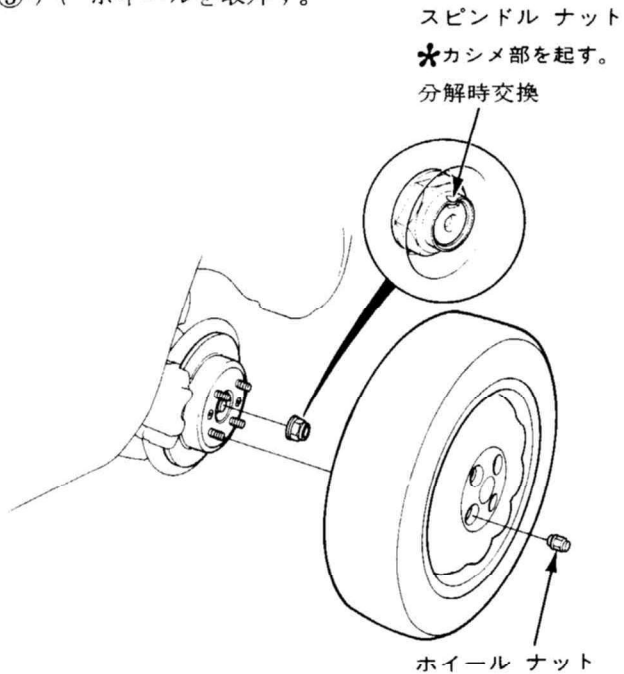
ナックル、ハブ

展開図、点検



取外し

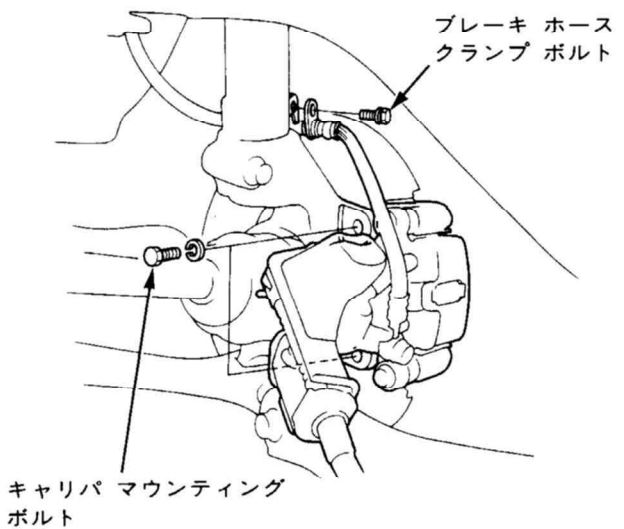
- ①リヤホイールのホイールナットをゆるめる。
- ②リヤをジャッキアップして、サイドシル補強部にリジッドラックをあてがう。
- ③リヤホイールを取外す。



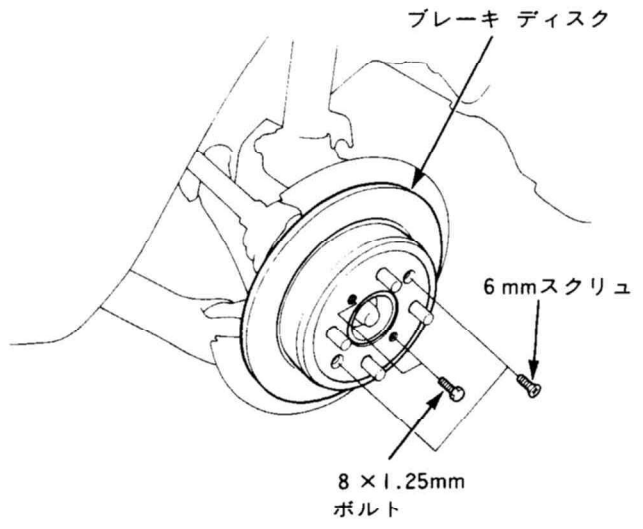
- ④ブレーキホースクランプボルトを外す。
- ⑤キャリパマウンティングボルト2本を外してキャリパを針金等で吊る。

注意

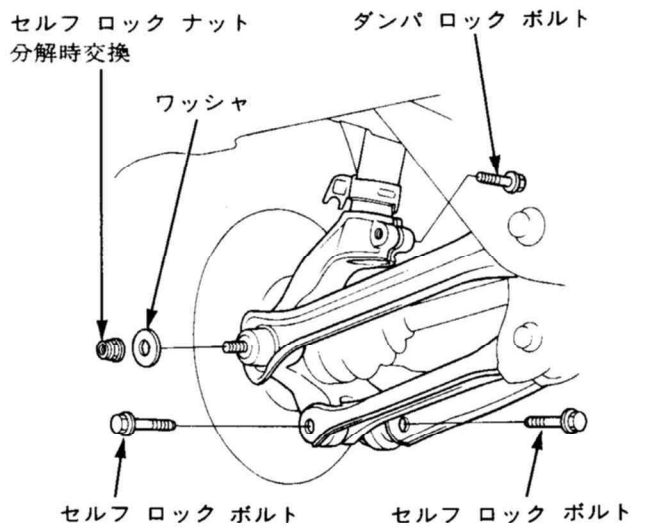
- ・キャリパを固定する場合、他の部品に損傷を与えないように充分注意する。
- ・ブレーキホースは無理にねじらないこと。



- ⑥ブレーキディスクから6mmスクリュを外す。
- ⑦ブレーキディスクが外しにくい場合は、8×1.25mmボルト2本を下図のように取付け、平均的に締込んで、リヤハブからブレーキディスクを取外す。



- ⑧ナックルとダンパ、ロアアーム、コントロールアーム、ラジアスアームの接続をそれぞれ外す。
- ⑨ナックルからドライブシャフトを抜く。

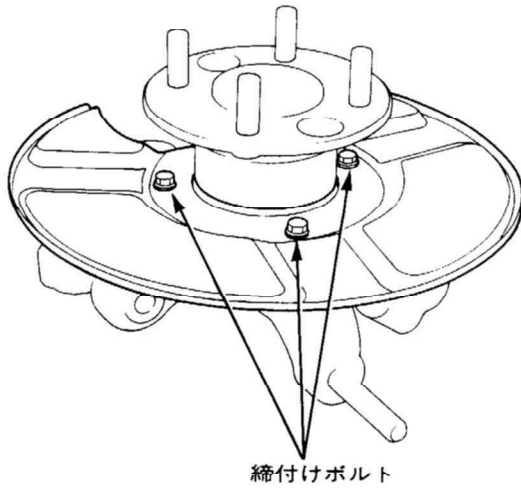


リヤ サスペンション

ナックル、ハブ

分解

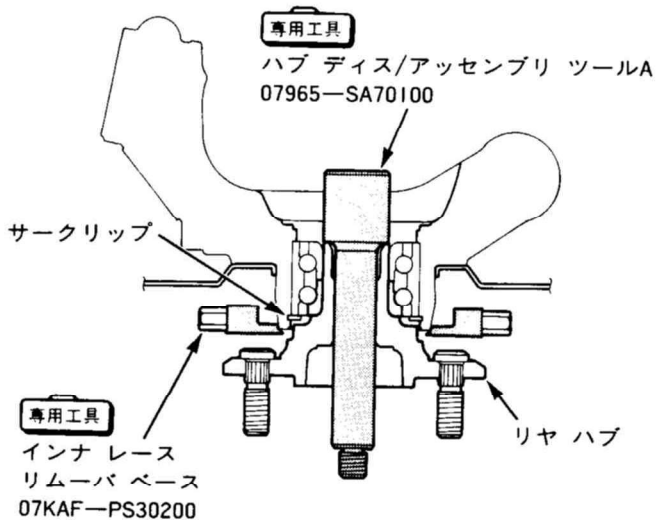
- ① スプラッシュ ガード締付けボルト 3 本を取外す。



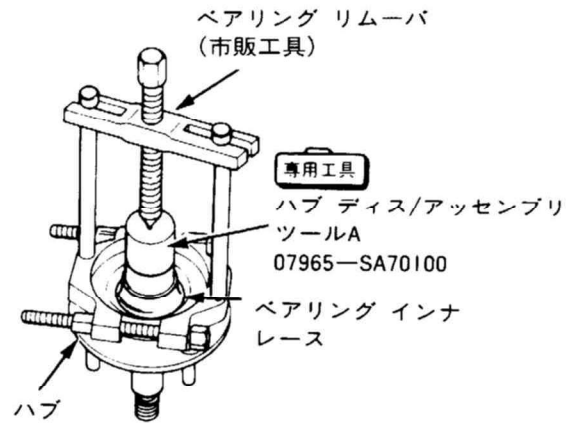
- ② 専用工具とプレス機を使い、ナックルから、リヤ ハブを取外す。
 ③ スプラッシュ ガードを取外す。
 ④ サークリップを取外す。

注意

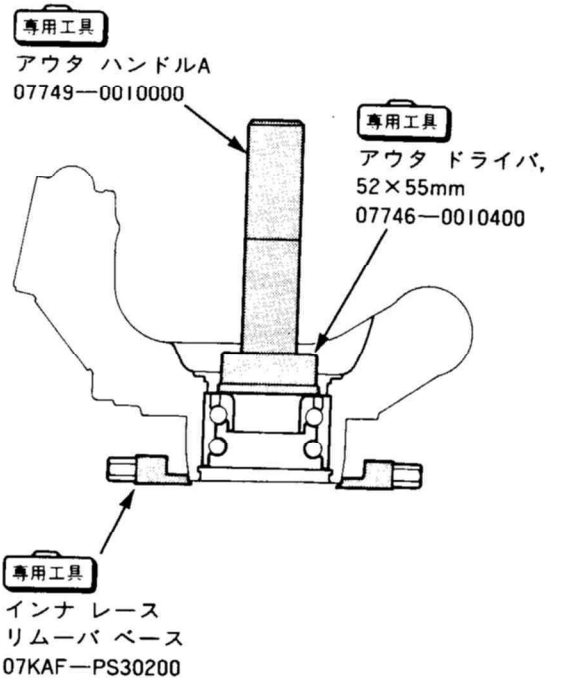
- ・ 分解時ナックルが傾かないように、確実にベースにセットする。
- ・ スプラッシュ ガードを变形させないように注意する。
- ・ リヤ ハブを取外す場合は、リヤ ホイール ベアリングを交換すること。
- ・ ハブが抜け落ちるので、ハブ下側を手でささえておくこと。



- ⑤ 専用工具とベアリング リムーバ(市販工具)を使い、インナ レースを取外す。



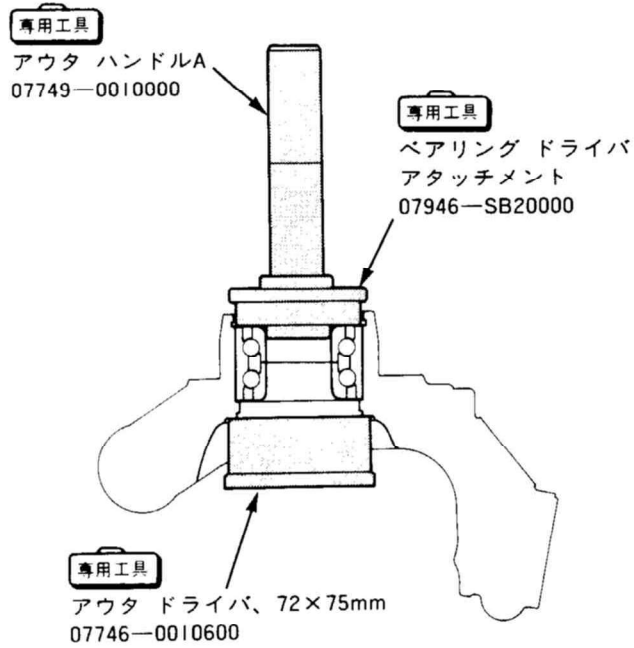
- ⑥ 専用工具とプレス機を使い、ベアリングをナックルから取外す。



組立て

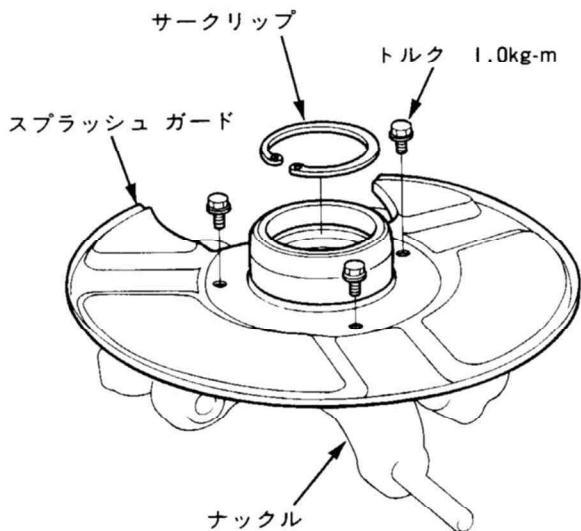
★組立て前に、ナックル及びハブを洗浄する。

- ①専用工具とプレス機を使って、ベアリングをナックルに圧入する。

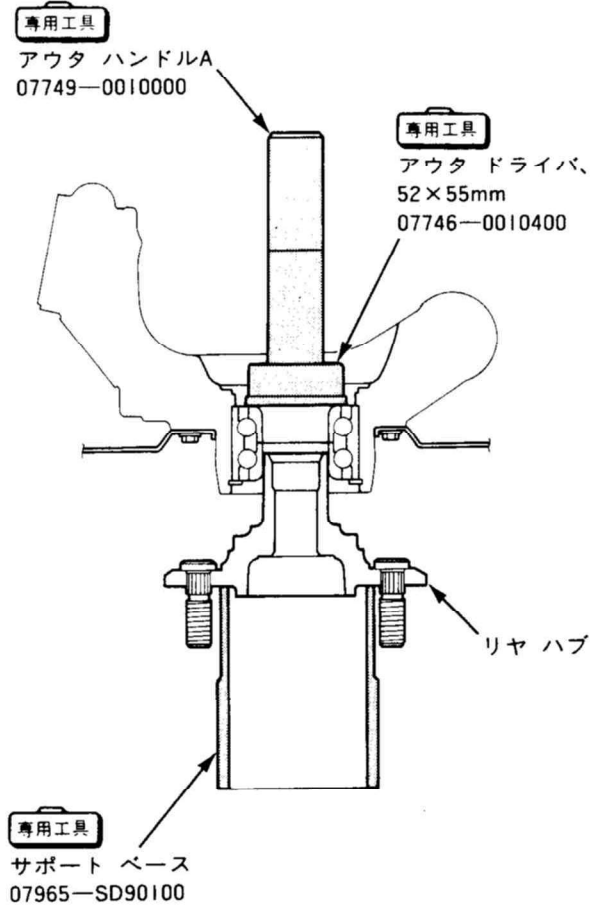


- ②サークリップを取付ける。

- ③スプラッシュ ガードをナックルに取付ける。



- ④専用工具とプレス機を使い、リヤ ハブをベアリングに圧入する。



リヤ サスペンション

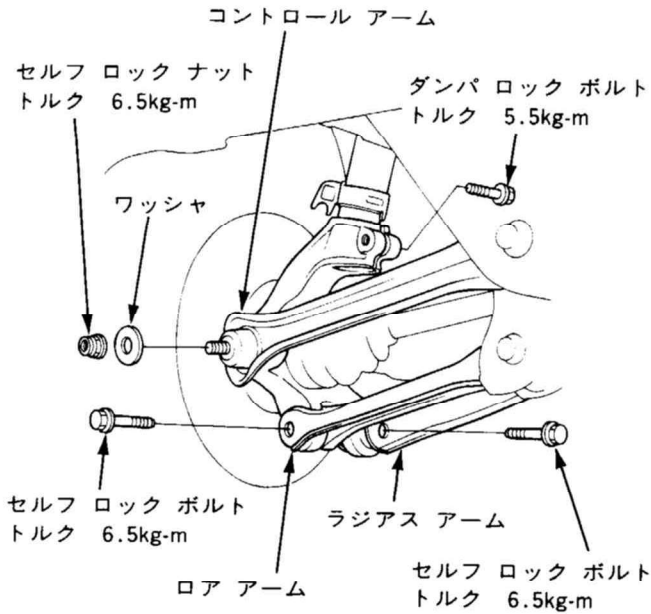
ナックル、ハブ

取付け

- ①ナックルをドライブ シャフトと接続する。
- ②ナックルとロア アーム、コントロール アーム、ラジラス アームを仮付けする。

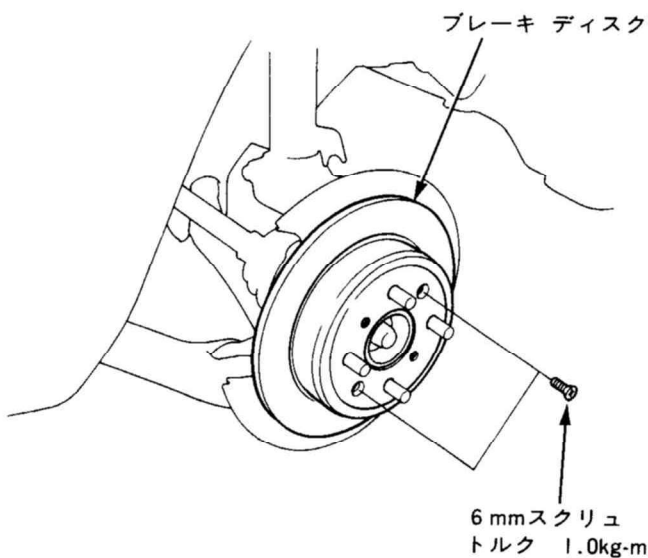
*****締付けは、車重をかけた状態で行うこと。

- ③ナックルとダンパを接続し、ダンパ ロック ボルトを締付ける。



- ④ブレーキ ディスクを取付け、6 mm スクリュを締付ける。

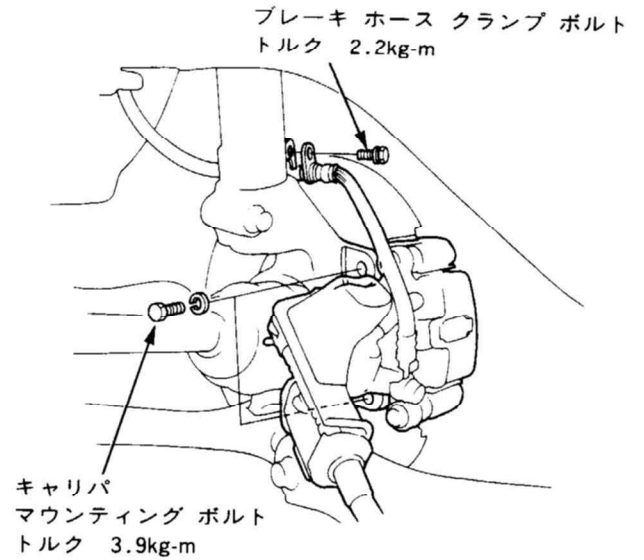
[注意] ブレーキ ディスク取付け時には、取付け面の錆、異物を取除き、清掃してから取付けること。



- ⑤ブレーキ キャリパを取付け、キャリパ マウンティング ボルトを締付ける。

- ⑥ブレーキ ホースをブレーキ ホース クランプ ボルトで締付ける。

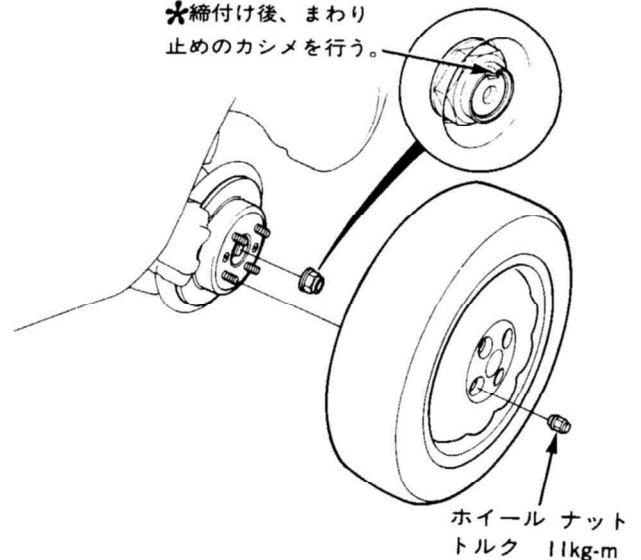
[注意] ブレーキ ホースに無理なねじれがないように締付けること。



- ⑦スピンドル ナットを締付け、かしめる。
- ⑧ホイールを取付け、ホイール ナットを締付ける。
- ⑨ナックルとロア アーム、コントロール アームおよびラジラス アームの接続を規定トルクで締付ける。

スピンドル ナット
トルク 18.5kg-m

*****締付け後、まわり止めのカシメを行う。



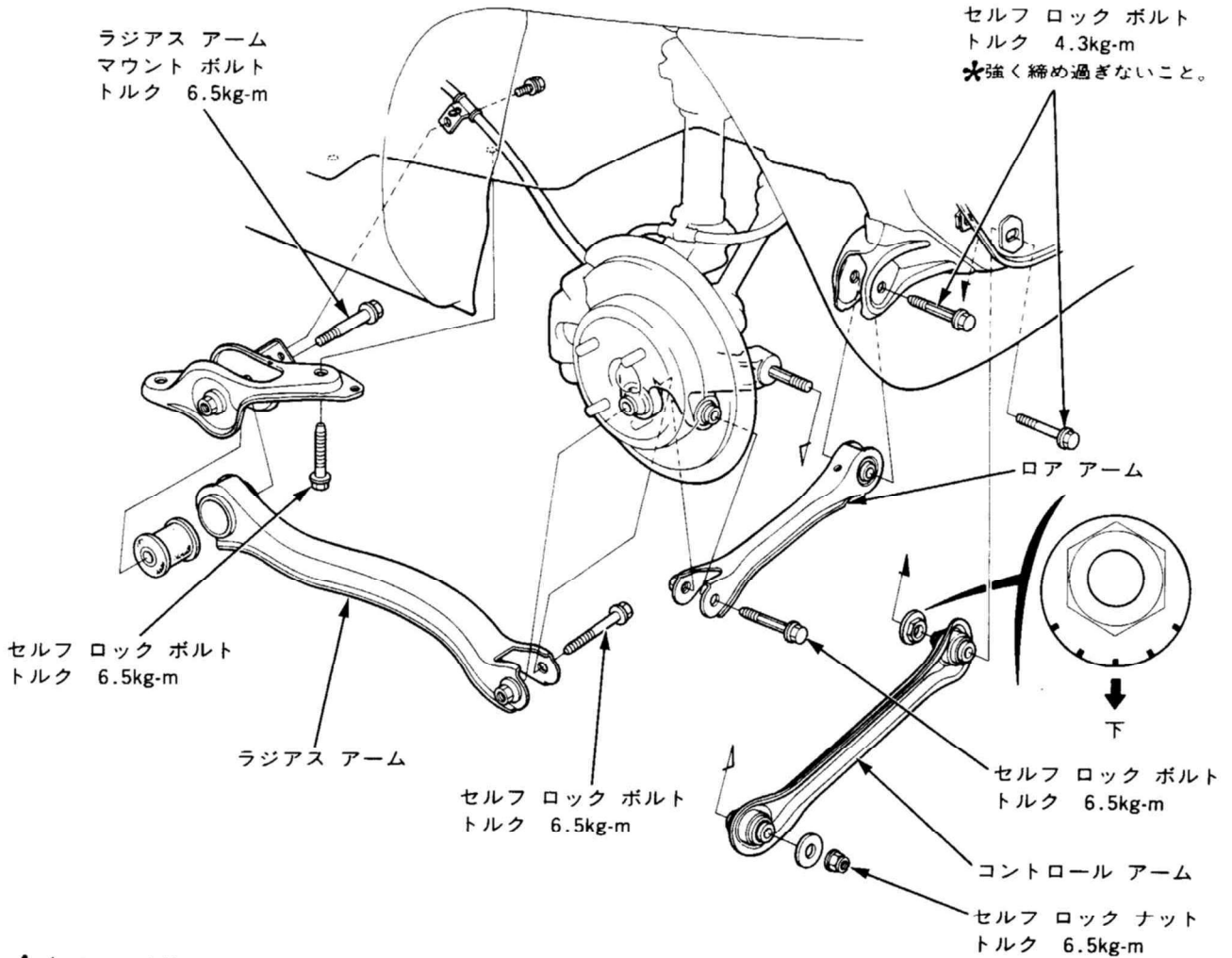
- ⑩ホイール アライメントを測定し、基準外であれば調整する。(12-4 頁)

リヤ サスペンション

サスペンション アーム

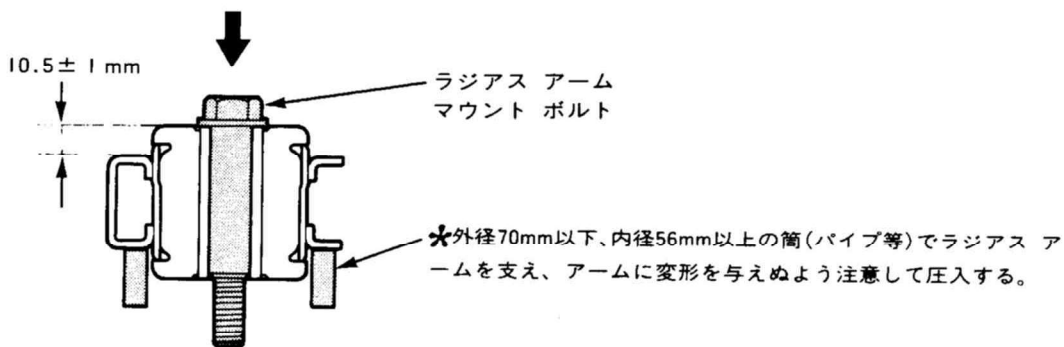
取付け

- ★ ラバー ブッシュ部の締付けは、車重をかけた状態で行うこと。
- ★ 各アーム類取付け後、ホイール アライメントを測定し、基準外であれば調整すること。(12-4頁)



★ブッシュの交換

新しいブッシュに石けん水を塗布し、図の方向より圧入する。



リヤ ダンパ アッセンブリ

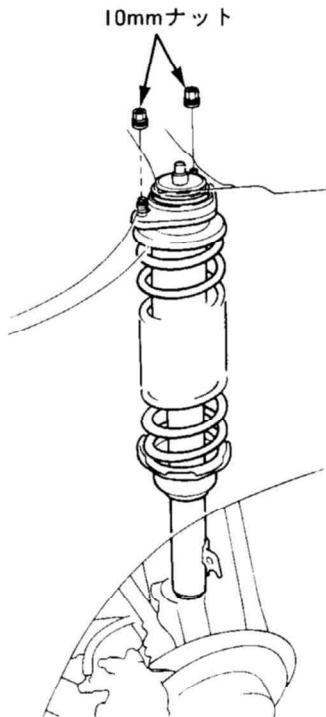
取外し

- ①ブレーキ ホース クランプ ボルトを外す。
- ②ダンパ ロック ボルトを外す。
- ③ナックルを下げ、ダンパ アッセンブリとナックルを分離する。

ダンパ
ロック ボルト

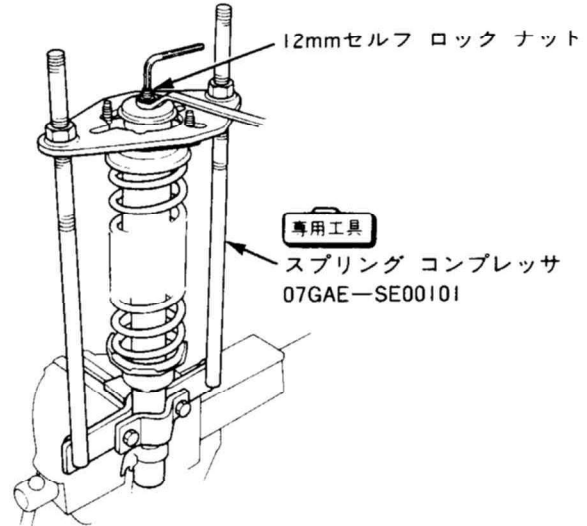
ブレーキ ホース
クランプ ボルト

- ④10mmナットを外し、ボディからダンパ アッセンブリを取外す。

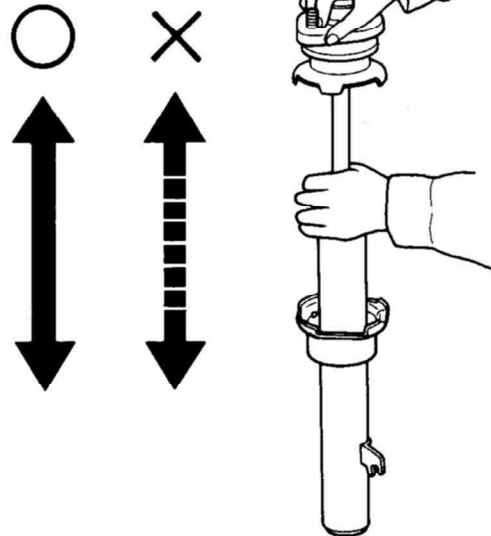


分解、点検

- ①専用工具(スプリング コンプレッサ)を用いて、スプリングを圧縮する。
- 注意** スプリングを十分に圧縮してから、次の作業を行う。
- ②12mmセルフ ロック ナットを取外す。



- ③専用工具を外し、ダンパを分離する。
- ④スプリングを除く部品を、再度ダンパ アッセンブリに組付け、図のようにダンパ ユニットをゆっくり一定速度で動かして、全ストロークにおいて、その動きの重さが一定であるかどうか点検する。
- ⑤ピストン ロッドを急に5~10cmのストロークで動かしたとき、重さが変わらないかどうか点検する。
- ⑥ピストン ロッドの傷やオイル漏れの様子はないか点検する。
- ⑦上記点検中、異常な音や手ごたえがないか点検する。



リヤ ダンパ アッセンブリ

点検

12mmセルフ ロック ナット
トルク 4.5kg-m
分解時交換

ダンパ マウンティング
ワッシャ
座面のへたりを点検する。

バンプ ストップ
ラバー
衰損、損傷を点検する。

ダンパ
マウンティング
ベース
劣化、損傷を
点検する。

スプリング アップ シート
損傷を点検する。

ダスト カバー
へこみ、曲がりを点検する。

スプリング
へたり、損傷を点検する。

ダンパ ユニット
オイル漏れ、作動を
点検する(前頁参照)。
錆、泥を点検する。

組立て

①専用工具(スプリング コンプレッサ)に、ダンパ ユニットを取付ける。

②専用工具をバイス等に固定し、ダンパ ユニットに下記の部品を組付けてゆく。

- バンプ ストップ ラバー
- スプリング
- ダスト カバー
- スプリング アップ シート
- ダンパ マウンティング ベース

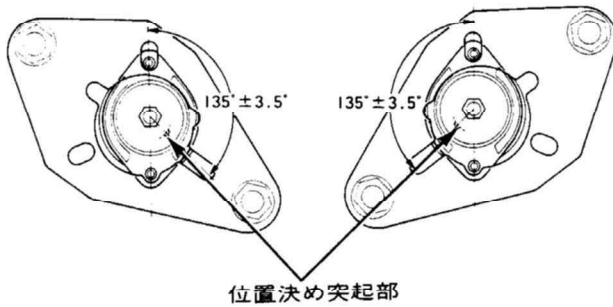
✳スプリング取付け時、スプリング両端と上下のスプリング位置決め部をあわせること。

③ダンパ マウンティング ベースのスタッド ボルト位置とブレーキ ホース ブラケット位置関係を下図のようにして専用工具(サスペンション マウント プレート)を取付ける。

注意 ダンパ マウンティング ベースの位置をぶらさないよう専用工具(サスペンション マウント プレート)を取付けのこと。

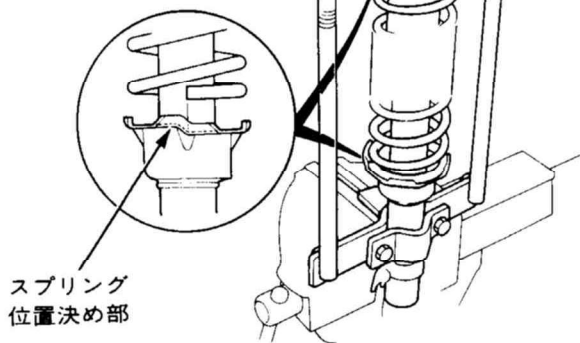
左側

右側

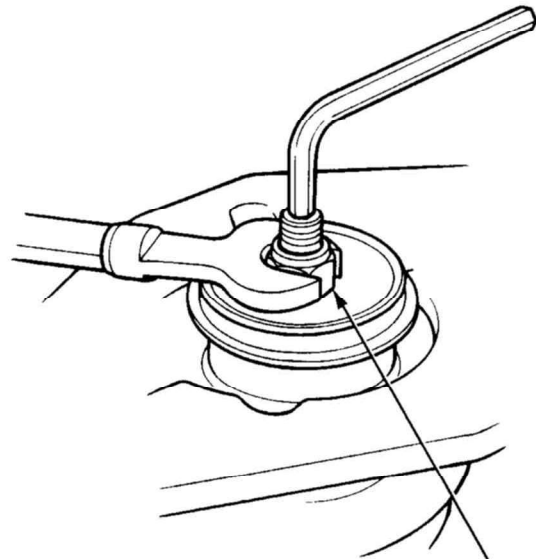


専用工具

スプリング
コンプレッサ
07GAE-SE00101



- ④スプリング コンプレッサでスプリングを圧縮する。
⑤ダンパ マウンティング ワッシャを取付け、12mmセルフ ロック ナットを仮付けする。
⑥ダンパ シャフトを固定し、セルフ ロック ナットを締付ける。

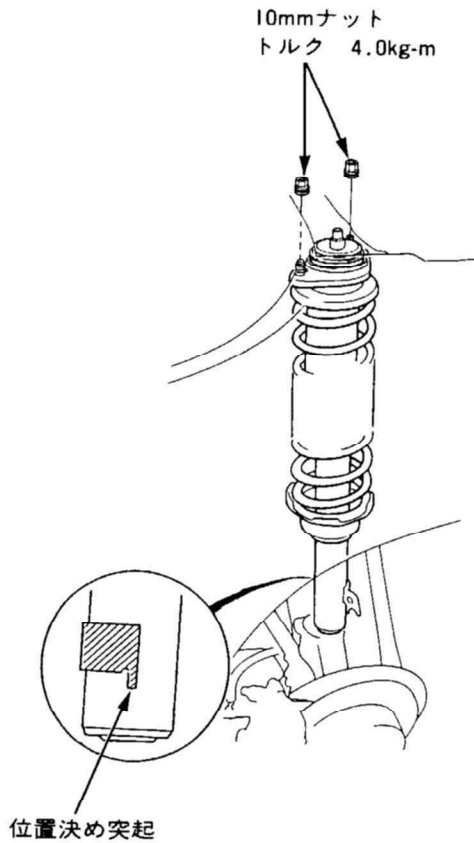


12mmセルフ
ロック ナット
トルク 4.5kg-m

リヤ ダンパ アッセンブリ

取付け

- ①ダンパの位置決め突起部をフレームの内側に向け、10mmナットでダンパをフレームに仮付けする。
*左右のダンパを逆に組付けないよう注意すること。



- ②ダンパの位置決め突起と、ナックルの溝を合わせ、ダンパアッセンブリをナックルに取付ける。
- ③ナックルが下降しないようおさえておいて、ダンパロックボルトを締付ける。
- ④ダンパ上側のナットを締付ける。
- ⑤ブレーキホースクランプボルトでブレーキホースを固定する。

